勝利の伝説シェブロンラインは最高級品の証。

"Chevron-Line" ist der Beweis höchster Qualität.

勝利をめざすなら、選ぶべきだ!

―――――無言の威圧感を与えるヒュンメル―――――

「アジアの王座確保に全力」

日本協会、新強化方針打ち出す

モスクワ・オリンピック不参加決定後、初の日本協会強化部の総会が7月26日東京で行われ、今後の頂点強化などについて協議した。

席上、強化部長を兼ねる荒川清美理事長は、強化路線の基本方針を「アジア地域での覇権確保におく」ことを明きらかにした。

これまでのナショナルチームのターゲットは、つねに「世界のベンスエイト」におかれ、選手選考なども、対ヨーロッパが意識されていたが、今回の荒川強化部長の方向指示は、これまでの路線の一部修正を意味するもので注目される。

これは、全日本女子が二年前の世界女子選手権予選、昨秋のオリンピック予選で、連続して韓国に敗れたこと、男子も、オリンピック出場権を手中にしたものの、韓国のレベルアップ、中国の急迫、クウェートなど中東勢の意欲などあり、王座確保の見通しが楽観を許せなくなったことなどによるものである。

強化部総会は、強化委員、同コーチ、トレーニングドクターなど二十二名が出席。注目の男女ナショナルチームについては、男子は、竹野奉昭監督から、十月の朝鮮民主々義人民共和国（北朝鮮）遠征は、役員、選手とも、モスクワ・オリンピック代表に決まっていたそのままの顔ぶれで行ないたい、との意向が明らかにされ承認。来春2月のクウェート国際は、モスクワ・オリンピック代表を主体に、2名～5名の〝新戦力〟を加えて行なうことが述べられ、一部の委員から、〝新旧交代〟論も出されたが、基本的には、竹野監督の意見にまとまった。

一方、女子については、総会席上では、池田鉄哉監督から「来年に予定される第八回世界選手権アジア予選を勝ち抜くこと、そのために八月以降は二カ月に一回、来年は毎月一回の合宿を行なう」という方針を了承。

注目のメンバーについては、総会後の、女子強化コーチ、強化委員の分科会で協議され、池田監督の用意した29名の候補選手案を18～22名程度に縮少することが申し合わされた。

縮少されたメンバーは、8月11日から1週間、日本ビクターで第1回合宿を行なうが、選手名は本誌〆切り（7月28日）までには、発表されていない。

ジュニア・ナショナルについては、男女とも、IHF（国際ハンドボール連盟）が、来年の世界選手権で、予選制を布くかどうか不明のため、具体的な意見がしぼり勝ちとなり、早ければ10月末に、候補選手を発表することとして協議を打ち切った。

このほか、男子ナショナルを、クウェート国際後、ヨーロッパ転戦させること（本誌既報）が、荒川強化部長から明らかにされ、女子側からは、米年上半期に東ドイツ交流が希望された。

世界学生選手権の日本協会ジュニア強化事業組みこみについては今冬の大会は、全日本学連主体とし、次回に関しては、新発足を予定される全日本学連協化セクションと、強化部が合同会議を行ない話し合うこととなった。

米年度の国内における国際事業は、荒川強化部長は「中国、北朝鮮、アメリカ、東ドイツなどの招待を考りょしている」とし、「ジャパン・カップ(仮称)」については、このうちの二～三カ国を同時招待して行ないたい、と初めて同大会についての日本協会としての見解を明きらかにした。

このほか、人事面では、荒川理事長の兼務する「強化部長」ポストは、日本協会財団法人化（10月または11月）後、新体制決定まで現状のままとしたい、という日本協会側の考え方が報告され了承、

女子ジュニア担当コーチは、総会後の女子分科会で、伊藤宏幸（日立栃木）、樫塚正一（武庫川女大）の両氏を決めた。

また、白神邦雄女子担当コーチ（ブラザー工業）から、勤務上の理由で提出されていた辞表が受理された。

朝鮮民主々義人民共和国遠征メンバー

▽監督 竹野奉昭（日本協会強化委員）▽コーチ 東嘉伸（同コーチ）▽GK 福井秀人(湧永)、大畑孝広（本田）井藤英忠（日体大）

▽FP 津川昭、穂積豊彦、山本仲二、池ノ上孝司、志賀良弘(以上湧永)、中本満明、蒲生晴明、大原真造（以上大同）、斉藤将一郎(湯沢ク)、斉藤幸司(大崎)、関健三（三陽商会）

団長、総務は未定。

『ハンドボール』

55年8月号(第188号)目次

新強化方針打ち出す……(1)
IHF総会報告……(2)
選手強化拠点校決る……(3)
日本協会ニュース……(4)
審判テスト問題……(5)
大同、大崎（女子）
ヨーロッパへ……(7)
オリンピック速報……(9)
インターハイ始まる……(11)
全日本高校県予選結果……(13)
教職員大会せまる……(17)
西日本学生選手権結果……(18)
クラブ問題……(21)
西部日本学生終る……(23)
各地学生リーグ戦③……(25)
高校ブロック大会……(27)
海外トピックス……(29)
クラブ大会結果……(30)
各地の記録……(31)

【表紙写真】

【スポーツイベント提供】

IHF総会

日本の大陸予選免除は未確定

7月16日モスクワで開かれたIHF（国際ハンドボール連盟）の第18回通常総会に他の15カ国の代表とともに出席した日本協会・荒川清美理事長は、7月23日の月例常務理事会、26日の強化部総会で報告を行った。

注目の第十回世界男子選手権（西ドイツ）に、日本がすでにアジア大陸代表として確定しているという本誌前号の報道については「IHFはまだ正式決定していない」ということで、アジア大陸代表が史上初めて二カ国の点が明きらかになったにとどまった。

行事関係では、次々回の世界ジュニア選手権が、一九八三年ポーランドで行われることが発表されIHF総会は、八二年がロンドン八四年がコロラド・スプリングス（アメリカ）に内定。

来年の男女世界ジュニア選手権に予選が行われるかどうかも、現時点では不明確とされた。

ロサンゼルス・オリンピックは八四年七月または八月とされ、参加国は、男子12、女子6カ月とモスクワに同じ数字となった。

女子6カ国については、ルーマニア協会から、世界選手権上位3カ国、「3大陸代表」1カ国、開催国のほか、ヨーロッパ予選を行ない1カ国を選ぶ提案が出されたが、否決された。

なお、第3回アジア選手権は、今春4月のAHF（アジア・ハンドボール連盟）総会で、来年イラクと発表されたが、アジア諸国の会合が、今回は行われず、詳細なスケジュールは決定しなかった。

台湾、名称変更受け入れず

注目の加盟国は、中国が予想どおり正式メンバーになった。

中国は、昨秋、IOC（国際オリンピック委）に復帰したことでIHF仮加盟となり、モスクワ・オリンピック予選（対日本）にも急きょ出場が認められるなどしたが、今回の総会で、正式なメンバーになったもの。

中国からは、4人の代表が初めて、IHF総会に姿をみせた。

中国の加盟によって、これまで「ROC（リパブリック・オブ・チャイナ）」を名乗っていた台湾は、「中国タイペイ・ハンドボール協会」の名で、IHFに留まるよう提案されていたが唯一人出席していた台湾オリンピック委関係者は、これを不満とした。

このため、多くの意見が各国から出されたが、結局、採決に持ちこまれ、「名称変更を受け入れねばIHF内に留めない」という動議が圧倒的多数で可決された。

これで、台湾は、「中国タイペイ」と改称しない限り、IHF加盟国としての資格を失うことになり、台湾側の姿勢から推して、その可能性は少なく、荒川理事長は「事実上、除名となった」といっている。

台湾は、一九七二年からのIHFメンバーで、日本とも世界選手権、オリンピック予選などで対戦していた。

このほか、パレスチナの加盟が正式に決まり、アジア地域所属となった。

また、ガボン、チリの正式加盟も報告された。

渡辺和美氏、理事に3選

4年にいちどの役員改選は、会長にP・ヒョークベルグ氏（スウェーデン）、事務総長にM・リンケンバーガー氏（西ドイツ）は、すんなり重任が決まった。

動きがあったのは副会長で、これまで第二副会長W・クリコフ氏（ソ連）が、これまでの首席副会長A・S・ロマン氏（スペイン）と入れ替った。

各大陸会長の第三副会長就任はアジアのアル・サバード氏（クウェート、AHF会長）、アフリカのB・フォール氏（セネガル）、米大陸のシェッドルム氏（メキシコ）で落ちついた。

理事の改選は、ほとんど異動はなく、大陸代表理事のうち、アジア選出は、渡辺和美氏（日本協会顧問、東京協会々長）で問題なかった。渡辺氏は三選。

なお、日本協会がいちち考りょしていた荒川理事長の立候補は、行われなかった。

執行部のうち、目立つのは、日本にもおなじみのザイラー氏（東ドイツ）が、広報・宣伝・普及を担当するCPD委員長に推されたことだろう。

来夏から「45秒ルール」が タス通信報道

「来年8月から、これまで制約のなかった攻撃時間を、45秒以内に制約するというルールをIHF総会が決定した」——7月16日モスクワ発のタス通信電として、共同通信が伝えたもので、すでに8年近い「45秒ルール」が、いよいよ正文化、ハンドボール競技の展開に、大きな改革をもたらすものとして、国内関係者に衝撃を与えている。

◇

荒川理事長は、このタス通信の報道について「IHF総会で、そのような決定を行われなかったばかりか、秒45ルールは、一度も話し合われなかった」と語った。

同理事長は、7月26日の強化部総会でも、この件について、かなりの時間をさいて、外電の報道を否定した。

ルールに関しては、担当のワング理事が、「81年度版ルールブック」の編集をほぼ終ったという報告をしており、日本協会は、同書の原案（校正用原稿）を、すでに入手しているが、その中にも「45秒ルール」はいっさい触れられていない。

タス通信が、なんらかの手ちがいで誤電したのか、総会以外のとこ（例えば技術委員会）で審議されたのかは、本誌〆切日（7月28日）までには分からず、日本協会は、早急にIHFに問い合わすこととしている。

日体大男女と中大を指定
オリンピック選手強化拠点校

　将来の日本スポーツ界を背負う若手の育成には、まず学生スポーツ界の強化を、という日本体協競技力向上委員会の「大学強化拠点構想」が具体的にまとまり、7月11日、同委員会から正式発表された。

　この「構想」は、日本体協が2年前から検討を進めていた〈ジュニア対策〉の一環で、強化対象として全国から大学運動部、コーチを選考、特別に補助金を与えて、その大学に強化をすすめてもらうというものである。

　これらの大学は「オリンピック選手強化拠点部」と呼ばれ、この日明らかにされた資料によると、全国で81の大学クラブが指名された。（注オリンピック競技以外の例えばテニスなどは「国際競技力強化拠点部」と呼ばれる）。

　ハンドボールは、あらかじめ男子2、女子1校が指定され、日本協会と日本体協競技力向上委の協議によって、男子は日体大と中大女子は日体大に決まり、発表された。

　また、「ジュニア強化コーチ」の名で呼ばれるコーチは、ハンドボールは5名の枠が内示されており、日本協会と全日本学連の協議などで拠点部となった日体大男子の一宮昌平氏、中大の田中秀夫氏日体大女子の藤原侑氏をまず決定残り2名は、全日本学連で男子の強化を担当している大西武三氏（筑波大監督）、女子の担当・高野亮氏（東女体大監督）とした。

　この5氏も、11日の発表で承認されている。各氏とも月額五万円の謝金が、日本体協から支給される。コーチの任期は、来年3月31日までである。

◇

　○…日本体協が、学生スポーツの強化に、資金つきで乗り出したのは画期的といえる。

　これは、3年前のユニバシアード（ハンドボールは含まれず）における低迷が、直接のきっかけとなり、このほか、日本のオリンピック代表団のなかで占める学生の割合が、大会ごとに減少しているのも一因である。

　日本体協の資料では、東京オリンピックの時32％を占めた学生選手が、4年前のモントリオール大会では18％に落ちこんでいる。

　ちなみに、44年前のベルリン大会は、実に63％が学生である。

　○…こうした学生界の低調の一方で、各競技とも「世界のトップを狙うにはジュニア層の強化が不可欠」というようになり、この面での整備が急務とされてきていた

　日本体協が、こうした現情を考慮、まず「学生スポーツ」に目を向け、ジュニア選手強化事業の一環として、有力大学運動部を強化拠点校に指名、強化をそれぞれの部に〝委託〟する形式を採った措置は、競技団体学生界両者から歓迎を受けている。

　○…日本協会も、IHF（国際ハンドボール連盟）の世界ジュニア選手権創設によって、にわかに〈ジュニア対策〉への関心が高まり、昨年から、強化部のジュニア対策も本格化、組織化された矢先だけに、今回の日本体協の方針も極めてスムースに受け入れている

　拠点に推せんした3大学も、まず順当なところで、今後の成果が大いに注目されよう。

　それと同時に、これらの各校部員に注がれる目も厳しいものが予想され、いっそうの努力を期待したい。

　○…問題点としては、ナショナルとの関連、さらには、日本協会ジュニア強化事業との関係であろう。

　ナショナル・チーム（及びジュニアナショナル）を運行する強化部では、かねてから〈大学強化〉〈高校強化〉を、日本協会レベルで行うことを検討しており、今回の日本体協の行動は、いっそう、その方針にはずみをつけるものだろう。

　しかし、特に〈学生強化〉については、全日本学連が、世界学生選手権を最終目標点において、独自の視点で、これまでにも強化活動を行っており、両者間の調整が必要になってくる。

　現実に、今冬の第8回世界学生選手権（男子のみ）が、ジュニア強化事業として承認されたと同時に、日本協会が乗りこみかけ、全日本学連と磨擦をおこした。

　今回は、日本協会側が、全日本学連主導を認めておさまったが、次回からは、こうはいきそうにない。

　学連強化陣を日本協会強化部に吸収する案は、かなりにつまっているとも伝えられる。

日体協・大学選手強化
ハンドボール拠点校

▽男子
日体大
中大

▽女子
日体大

同ハンドボールジュニア強化コーチ
藤原侑, 大西武三
田中秀夫, 一宮昌平
高野亮

日本協会専門委員会だより

審判

昭和55年度A・B級公認審判員審査は、この審査（テスト）が行われるようになって、初めて関西地区（6月14、15日・京都市の立命館大で開かれた関西学連新人戦）で実施された。

当初の申請者数はA級 8名 B級 18名であったが、インターハイ予選などで受験者が少なくなったが充実した審査が行われた。ただ残念だったのは、関西地区で初めて実施した機会なので、関西の受験者多くなるのではないかと期待していたが、結果としては関東で実施した時とあまり変化なく、関西・関東の受験者がほぼ同数で終ったことである今後審判委員会としては、できる限り各方面からの要望も強く関東地区・関西地区の交互開催を考えている。受験者の経費問題もあり、それぞれの地区で実施される年度に、若く優れた技術を身につけた受験者が増加するよう期待する。

実施内容は次の通りである。

6月14日11時～12時ペーパーテスト（AB級）
午後13時30分～実技テスト
6月15日9時～実技テスト（B級）
受験者が少数であったので二回吹笛厳密な審査がされた。

合格者名
A級＝得丸光（千葉）菊池源（東京）島崎政治（大阪）中本成基（広島）
B級＝伊藤宏幸（栃木）大出治男（栃木）山田利美（茨城）森皓一（兵庫）秋永昭治（滋賀）丹田克己（滋賀）中井公人（奈良）

○試験問題（別紙）

※昭和55年度
公認審判員研修会の関催
第一回 8月3日13時～16時於
全国高校総合体育大会
宇和島東京校
第二回 8月9日13時～16時於
全日本教職員選手権大会
彦根工業高校
彦根市民体育センター

(A級) 体力テスト

最高タイム 15秒3
最低タイム 19秒5

総務

いささか旧聞になりますが、この三月に堤慎事務局長が退任、四月から加納励二郎氏が事務局長に新任しました。

前任者の堤さんは一〇年間事務局長をつとめ、豊島区内の小学校長を定年で退職されたあとの六〇才台だったにも拘らず、日体協との交渉、補助金申請・精算等の膨大な書類の作成から機関誌の発送、タイプ浄書等一切の雑用まで、文字どおり身を粉にして仕事をされました。血圧降下剤など幾種類かの薬を手放せませんでした。

この一〇年間、強化事業の拡充、国際交流の活発化、登録チームの増加等で日本協会の事務量は飛躍的に増加したにも拘らず、事務局は、会計担当の女子事務員と二人だけの態勢が十年一日の如く続いてきました。

本来、事務局長は、日本協会の事務の要として、地方協会や加盟団体、日体協などとの連絡や接衝までして貰いたいところですが、現実は雑用に追われ通しというが実情でした。

新しく設立許可申請中の財団法人の予算の中では事務局職員を一人一人増員する計画になっています。

財団法人になればそれなりの事務局の整備が要請されます。文部省に対する種々の報告事務も増えるし、整備しておくべき書類の量も増加します。

日本リーグをはじめ、企業がハンドボールに関与する度合も著しく高くなりました。財団設立発起人会でも、企業が財政負担をしてもいいから事務局をもっと充実して欲しいという意見も出ましたが非常に合理的な意見だと思います常務理事の有給制という意見もありますが、事務局の充実の方が先決の問題でしょう。

新任の事務局長は、堤前局長と同よう、豊島区内の小学校の校長先生を定年で辞めた人ですが、学生時代には水泳などで鍛えたスポーツマン、非常な意欲をもって仕事に取り組んでいますが、電話応待その他雑用に追われてテンテコ舞いしております。前事務局長のとき以来、年金放入もあることだからといって薄給で我慢して貰っています。

もう一人事務局長を補佐する若い男子職員を増員する計画ですがスポーツを愛する適当な人を紹介してください。（大野金一・総務担当常務理事）

日本協会専門委員会だより

昭和55年度　B級公認審判員試験問題

〔A〕 次の文章の正しいものに○，間違っているものに×をつけよ。

1. ゴールスローのときゴールキーパーがボールを持ってゴールエリア内に入る前にスローをしたので，ゴールスローのやりなおしをさせた。
2. キーパースローをシュートし，相手のゴールに入ったときは得点である。
3. キーパースローの時ゴールキーパーの手にあるボールが，ゴール内のゴールラインを完全に通過したので相手方に得点を与えた。
4. フリースローの時，ボールをもってポイントに立ち，3秒を経過してもスローを行なわなかったので，オーバータイムにした。
5. 退場時間の計時はプレイヤーが競技場を出たときからである。(笛を吹いて退場させられた場合)。
6. ゴールはゴールポストの後側が，ゴールライン外側に一致するように置く。
7. レフェリーが得点を宣し，相手のスローオフでゲームが開始されたが，ゴールインでないことに気がつき得点をとり消した。
8. ボールをもっているプレイヤーのからだの一部分がサイドライン外に出たのでスローインの判定をした。
9. ゴールスローは，フリースローラインとゴールエリアラインの間にいてカット妨害してよい。
10. プッシングとチャージングのゼスチュアーは同じである。

〔B〕 次の文中の［　　］を，下の語群から最も適切なものを選んで埋めよ。

1. レフェリーは，競技開始前に［(1)］の状態を検査する。レフェリーは，競技を［(2)］し，競技を［(3)］し，あるいは［(4)］する権限をもっている。
2. ゴールレフェリーは基本的には次の場合に笛を吹く。
   (A)［(5)］が［(6)］に侵入したとき。(B)［(7)］したとき。(C)ボールが［(8)］の側の［(9)］を出たとき。(D)［(10)］をボールが出たとき。
3. センターレフェリーは次の場合に笛を吹く。
   (A)競技［(11)］　(B)［(12)］が行なわれたとき。(C)自分の側の［(13)］を［(14)］が出たとき。
   (D)［(15)］・［(16)］・［(17)］・［(18)］・［(19)］・［(20)］が第16条の10によって行なわれたとき。

（語群）　(ア)ゴールレフェリー　(イ)タイムキーパー　(ウ)警告　(エ)競技場　(オ)得点　(カ)ゴールライン
(キ)フィールドプレイヤー　(ク)ペナルティスロー　(ケ)退場　(コ)失格　(サ)フリースロー　(シ)追放
(ス)ゴールスロー　(セ)サイドライン　(ソ)キーパースロー　(タ)コーナースロー　(チ)レフェリースロー
(ツ)センターレフェリー　(テ)ゴールエリア　(ト)開始　(ナ)ボール　(ニ)中断　(ヌ)没収　(ネ)中止　(ノ)違反
(ハ)スローイン　(ヒ)スローオフ　(フ)レフェリー　(ヘ)スコアラー　(ホ)プレイヤー

〔C〕 競技中のレフェリーの留意事項について，次の5つの項目について簡潔，明瞭に答えよ。

(1) 吹笛について
(2) ゼスチュアーについて
(3) レフェリーの位置について
(4) 判定の軽重，相違について
(5) レフェリーの記録について

1500・3ドアCE

大同特殊鋼「リェージュ（ベルギー）国際」に参加
大崎電気女子 ルーマニアで強化合宿

男女のトップチームが、8月から9月にかけ、相ついで本場ヨーロッパへ〝単独遠征〟する。

その一つは、男子・大同特殊鋼（愛知）のベルギー「リェジュ国際トーナメント」への参加。

ベルギーの有力ハンドボール団体「ユニオン・ベイノワース」が主催する「リェージュ国際トーナメント」に、今春以降、再三にわたって出場の呼びかけがあり、大同が、それに応じたもの。

トーナメントは9月6、7日の2日間リェージュで行われ、参加チームはスロバン・リュブリアナ（ユーゴ1位）、コローナ・キールス（ポーランド3位）、フランス・リーグ選抜、地元ヘースタルHC（ベルギー）など単独クラブが中心。

ヨーロッパのナショナルチームをホームコートに迎えて接戦を演じている大同が、本場のタイトルマッチで、どこまで戦かうか興味深い。

正式なトーナメントスケジュールは、本誌〆切日までに未着だが大同に優勝の可能性も充分ある。

大同は、9月1日からの全日本実業団選手権（大阪）出場のあとベルギーに飛び、トーナメントのあとは、同国内を中心に、5～6試合の親善試合を予定している。

日本の男子チームが単独でヨーロッパ遠征するのは、52年の湧永薬品（広島）につづいて二度目、外国からのトーナメント招へいをうけるのは初めてである。

もう一つは、女子・大崎電気（埼玉）のルーマニア強化遠征だ。

女子の単独渡欧も初めてなら、本場で強化合宿を開くというのも男女を通じ初めての〝快挙〟。

8月17日出発、9月12日帰国、全行程27日間というスケジュールで行われる。遠征メンバーは役員3、選手14。

大崎・谷口俊郎監督の話では、受け入れはルーマニアの高名なコーチ、N・ネデフ氏で、いまのところブラショフ、ブカレストで強化合宿、8月24、25日にはバカウ市で開かれるトーナメント出場の手はずがととのえられている、という。

3年前、湧永のヨーロッパ遠征のあと、関東学生選抜が西ドイツを中心に、定期的な強化遠征をする以外、目立った〝民間外交〟のなかった球界だけに、大同、大崎の計画は大きな刺激を与えている。

大同は、日本のトップチームの実力が、本場で関心を持たれている証明ともいえ、「リェージュ国際」からの招へいは、2年つづけてのものだった。

また、大崎は、選手の発奮を狙う効果も盛りこまれ、しかも、東欧に強化の場を求めたことは、同チーム関係者のなみなみならぬ意欲を感じさせる。

なお、最近、各チームから国際的な「単独交流」の問合せが多くなっており、この機会に「日本協会単独国際交流規程」を掲載しておく。

日本協会単独国際交流規程

（前文）本規程を「日本ハンドボール協会単独国際交流規程」と呼ぶ。日本ハンドボール協会は各都道府県協会、各加盟団体及び日本協会登録チームが、個々に国際交流を行うことを承認する。ただし、実施にあたっては、次の各項を守らねばならない。

1外国遠征（イ）出発予定日の原則として6ケ月前に日本協会宛次の内容の企画書を提出する。ただし、アジア地区への遠征は3カ月前とする。

遠征チーム名、渡航先、渡航期間、相手国交渉先、予定試合数、渡航理由、遠征メンバー、責任者名、渡航経費の負担者。

（ロ）企画書提出後3カ月経過の時点で、日本協会宛、企画中間報告書を提出する。ただし、アジア地区については1カ月経過時点とする。

2外国チーム招待（イ）招待予定日の原則として6カ月前に日本協会宛次の内容の企画書を提出する。

招待チーム名、招待期間、相手交渉先、予定される日本での日程来日メンバー、招待理由、招待責任者名、後援者（社）名、招待経費の負担者と招待条件、日本における身許保証者。

（ロ）企画書提出後3カ月経過、1カ月経過の2回の時点で、日本協会宛企画中間報告書を提出する。

（ハ）実施される試合の審判員は、日本協会の推せんによるものとする。

3 日本協会は、提出された企画書に対し、次の場合は、企画停止延期、再検討を勧告することもある。

（イ）日本政府が国交していない国のチームとの交流、（ロ）国際ハンドボール連盟未加盟国のチームとの交流、（ハ）非アマチュアチームとの交流、（ニ）企画書および企画内容を不好全と判断した時、（ホ）提出された企画内容が、本協会にとって不利益が予想される時。

4 日本協会は本規程に基く国際交流については、一切経費の負担は行わない。また企画実施中に生じたトラブル、傷害についても一切責任をもたない。

5 企画終了後1カ月以内に、日本協会宛、実施報告書を提出する。

6 日本協会に登録された「個人」のうち、一人以上五人までが個人の資格で海外へハンドボール研究、指導、試合、トレーニングなどに行く場合については、特に拘束しない。ただし、第3項の二を除く各項に触れる場合は、予め日本協会に届出て指示をあおぐこととする。

7 前ぶれなく来日した外国チームとの交流、充分な期間がなく送られてきた招待状の承諾などについては、その都度原則として日本協会常務理事会が審議する。

8 本規程に違反した場合、日本協会懲罰規程の裁決による。

9 本規程は昭和47年4月1日から施行する。

オリンピック速報

男子は東独が辛勝

女子はソ連が全勝優勝

第22回夏季オリンピック大会ハンドボール競技は、7月20日（女子は21日）からモスクワのソコルニキ・スポーツパレスと、ディナモ・モスクワスポーツホールの両会場で熱戦が繰りひろげられた。男子は予選Aグループで1位（4勝1分）の東独が、Bグループ1位（4勝1敗）のソ連を延長の末破り金メダルを手中に納めた。

女子は大会前から予想された通り、ソ連が5戦全勝で優勝し、自国モスクワに高々と国旗を掲げた。

○…男子の決勝は予想通りソ連×東独の対戦となり、東独が延長の末23—22でソ連を破った。この男子は、2年前の世界選手権チャンピオンの西ドイツが不参加となったため、東欧勢が圧倒的な強さを示し、4位までを独占した。

自由圏では、スペインが5・6位決定戦でユーゴを24—23で敗ったのが光っていた。スペインに敗れたユーゴは、予選リーグB組でソ連・ルーマニアと4勝1敗で並んだが得失点差で3位となった。このショックが5・6位決定戦にもひびいたと思われるが、スペインの台頭は目ざましいものがある。

またアジアから参加したクェートは、12位の最下位に終った。

▼男子順位決定戦

▽11・12位決定戦
キューバ 32—24 クェート

▽9・10位決定戦
デンマーク 28—20 アルジェリア

▽7・8位決定戦
ポーランド 23—22 スイス

▽5・6位決定戦
スペイン 24—23 ユーゴ

▽3・4位決定戦
ルーマニア 20（11—7, 9—11）18 ハンガリー

▽決勝戦
東独 23（10—10, 10—10, 3—2）22 ソ連

〔順位〕
優勝 東ドイツ　7位 ポーランド
2位 ソビエト　8位 スイス
3位 ルーマニア　9位 デンマーク
4位 ハンガリー　10位 アルジェリア
5位 スペイン　11位 キューバ
6位 ユーゴ　12位 クェート

○…女子は、6チームによるリーグ戦となった。大会前ソ連×東独による決勝が予想されたが、ソ連が5戦に圧勝して金メダルを得た。東独は、ユーゴの粘りに合い10—10で引きわけ、ともに3勝1敗1分けとなったが、ユーゴが得失点差で2位に浮上した。

4位・5位のハンガリーとチェコも同成績だったが得失点差でハンガリーが4位となった。

女子優勝のソ連は、モントリオールにつづきオリンピック2連勝をかざした。

▼女子〔順位〕
優勝 ソビエト 5勝0分0敗
2位 ユーゴ 3勝1分1敗
3位 東ドイツ 3勝1分1敗
4位 ハンガリー 1勝1分3敗
5位 チェコ 1勝1分3敗
6位 コンゴ 0勝0分5敗

女子決勝リーグ戦結果

順位		ソ連	ユーゴ	東独	ハンガリー	チェコ	コンゴ	勝分敗
1	ソ連	＼	○18—9	○18—13	○16—12	○17—7	○31—11	5 0 0
2	ユーゴ	●9—18	＼	△15—15	○19—10	○25—15	○39—9	3 1 1
3	東ドイツ	●13—18	△15—15	＼	○19—9	○16—10	△28—6	3 1 1
4	ハンガリー	●12—16	●10—19	●9—19	＼	△10—10	○39—10	1 1 3
5	チェコ	●7—17	●15—25	●10—16	△10—10	＼	○23—10	1 1 3
6	コンゴ	●11—31	●9—39	●6—28	●10—39	●10—23	＼	0 0 5

☆2，3位及び4，5位は得失点差により決定

男子予選リーグ結果

○A組

順位		東独	ハンガリー	スペイン	ポーランド	デンマーク	キューバ	勝分敗
1	東独	＼	△14—14	○21—17	○22—21	○24—20	○27—20	4 1 0
2	ハンガリー	△14—14	＼	○20—17	△20—20	○16—15	○26—22	3 2 0
3	スペイン	●17—21	●17—20	＼	○24—22	○20—19	△24—24	2 1 2
4	ポーランド	●21—22	△20—20	●22—24	＼	○26—12	○34—19	2 1 2
5	デンマーク	●20—24	●15—16	●19—20	●12—26	＼	○30—18	1 0 4
6	キューバ	●20—27	●22—26	△24—24	●19—34	●18—30	＼	0 1 4

☆3，4位は対戦結果により決定

○B組

順位		ソ連	ルーマニア	ユーゴ	スイス	アルジェリア	クェート	勝分敗
1	ソ連	＼	●19—22	○22—17	○22—15	○33—10	○38—11	4 0 1
2	ルーマニア	○22—19	＼	●21—23	○18—16	○26—18	○32—12	4 0 1
3	ユーゴ	●17—22	○23—21	＼	○26—21	○22—18	○44—10	4 0 1
4	スイス	●15—22	●16—18	●21—26	＼	○26—18	○32—14	2 0 3
5	アルジェリア	●10—33	●18—26	●18—22	●18—26	＼	○30—17	1 0 4
6	クェート	●11—38	●12—32	●10—44	●14—32	●17—30	＼	0 0 5

☆1，2，3位は得失点により決定

2日から宇和島でインターハイ

昭和55年度全国高校総合体育大会・高松宮賜杯第31回全日本高等学校ハンドボール選手権大会は、愈々8月2日より8月7日の6日間、南予の玄関宇和島市宇和島東南両高校特設グランドにおいて、全国47都道府県代表の精鋭男女96チームを迎えて大会スローガン「四国路を駆ける若人、意気と熱」にふさわしい熱戦が展開されることになった。

古豪では男子最多出場（26回）を誇る地元の新居浜工（愛媛）を筆頭に22回清水市商、21回の四日市工・19回の氷見・女子では27回の浦谷・22回秋田和洋・水海道二徳山があげられる。

新進初出場では真室川（福島）市川（千葉）、松本美須々丘（長野）、奈良工（奈良）、瓊浦（長崎）薩南（鹿児島）がある。

女子では青森（青森）、拓殖一（東京）、大津商（滋賀）、東宇治（京都）、西大寺（岡山）・松江（島根）松橋（熊本）がある。

アベックの出場では日川（山梨）清水商（静岡）、池田（徳島）、前原（沖縄）の4校があって、古豪・新進乱れて楽しみな試合展開となろう。

▼男子

▽Aゾーン優勝候補岩国工に対する川口工、松山北の対戦が見ものである。岩国工の初戦川口工との対戦がヤマとなる。勝ち進めば、愛媛県常勝の新居浜工を破る勢いにのっている松山北の一戦が天王山となろう。

▽Bゾーン　大曲農・前原の勝者対桃山が見どころである。選抜出場の此花を破って大阪代表を決めた桃山の力と大曲農の粘りと豪快な前原の勝者が早くも2回戦の対戦となり、勝負はこの一戦にかわっていると見ても良かろう。水島工、前橋商、薩南・岩井の健闘も見どころである。

▽Cゾーン　大分電波の独走の気配が濃厚であるが、四日市・氷見・新居浜工の健闘も期待したい。

▽Dゾーン　中大附属が混戦を勝ち抜くかが鍵となろう。このゾーンには選抜出場の学法石川や足利工・小倉西などがひしめいており死闘が繰り広げられるようである

▼女子

▽Aゾーン　優勝候補小松市女を阻むのは有磯、昭和学院・徳山か徳山は選抜後成長しているだろうし、有磯も調子が上向いており、いづれにしても混戦はまぬがれない。

▽Bゾーン　秋田和洋・暁・小林商・明倫・地元伊予の乱戦となろう。本命のないゾーンだが、秋田和洋のふん張りが鍵となろう。

▽Cゾーン　夙川を阻む山陽女・大分東・長沼・国体強化の国学院栃木の健闘が期待される。

▽Dゾーン　本命市邨に対する初出場の熊本松橋地元新居浜市商の健闘が期待される。選抜から成長した市邨が優勝候補の最右翼と思われるが、他チームも強豪ぞろいで激しい展開となろう。

▼男女優勝戦線

ズバリ本大会、覇者はどこに輝くか占って見たい。

男子では岩国工の選抜に続く栄光をものにできるか。または中央大附属の反撃なるかが見どころとなろう。しかし今まで万運をかこっている氷見・小倉西が奮起すれば試合展開は面白くなろう。

女子では小松市女の四連勝なるかが試合の興味を引くところとなろうが、市邨の健闘に期待したい例年インターハイの戦いはどの試合も意気と熱に燃える母校愛と競技の栄光に全力をかけて闘うだけに見どころは多く楽しみである。

各チーム毎の猛訓練をそのまま試合に出し切ってマイペースで試合を運べるかが夏の大会で大切なことである。

各チームの健闘を祈りたい。

（島田）

第31回全日本高校選手権組み合せ

◇……男　子……◇

岩国工業（山口）
土佐（高知）
川口工（埼玉）
羽水（福井）
瓊浦（長崎）
清水市商（静岡）
高松商業（香川）
佐賀農業（佐賀）
松山北（愛媛）
青森商業（青森）
明石（兵庫）
市川（千葉）
奈良工業（奈良）
水島工業（岡山）
池田（徳島）
前橋商業（群馬）
柏崎工業（新潟）
薩南工業（鹿児島）
岩井（茨城）
真室川（山形）
松本美須々ヶ丘（長野）
大曲農業（秋田）
前原（沖縄）
桃山学院（大阪）

大分電波（大分）
四日市工（三重）
松江工業（島根）
氷見（富山）
日川（山梨）
八幡工業（滋賀）
新居浜工（愛媛）
境港工業（鳥取）
釧路湖陵（北海道）
法政大二（神奈川）
マリスト（熊本）
仙台育英（宮城）
学法石川（福島）
盛岡第一（岩手）
足利工業（栃木）
小倉西（福岡）
一宮（愛知）
御坊商工（和歌山）
修道（広島）
小松工業（石川）
東山（京都）
小林工業（宮崎）
岐阜商業（岐阜）
中大附（東京）

◇……女　子……◇

小松市女（石川）
筑紫女学園（福岡）
大津商業（滋賀）
昭和学院（千葉）
有磯（富山）
清水市商（静岡）
新潟江南（新潟）
春日丘（大阪）
徳山（山口）
群馬女短附（群馬）
三本松（香川）
国分実業（鹿児島）
伊予農業（愛媛）
松江第一（島根）
大正（高知）
岐阜南（岐阜）
明倫（神奈川）
佐世保商（長崎）
添上（奈良）
小林商業（宮崎）
釧路商業（北海道）
暁（三重）
川口北（埼玉）
秋田和洋女（秋田）

夙川学院（兵庫）
国学院栃木（栃木）
山陽女子（広島）
池田（徳島）
花巻南（岩手）
神崎農業（佐賀）
米沢女子（山形）
大分東（大分）
西大寺（岡山）
東宇治（京都）
長沼（福島）
日川（山梨）
新居浜商（愛媛）
佐久（長野）
水海道第二（茨城）
倉吉西（鳥取）
青森西（青森）
松橋（熊本）
浦谷（宮城）
前原（沖縄）
拓大第一（東京）
仁愛女子（福井）
粉河（和歌山）
市邨学園（愛知）

第31回全日本高校選手権 各県予選上位戦記録

（記録報告分のみ）

◆青森県

▽男子準決勝

野辺地 21—9 青森南

三本木 11—10 七戸

弘前南 12—10 五所川原

青森商 21—5 青森

▽同準決勝

野辺地 18—7 三本木

青森商 24—9 弘前南

▽同決勝

青森商 12（4—4、8—5）9 野辺地

▽女子準決勝

青森中央 7—6 野辺地

青森西 15—8 七戸

▽同決勝

青森西 15（8—2、7—5）7 青森中央

◆岩手県

▽男子準々決勝

盛岡一 18—8 宮古

一関工 22—15 岩手

花巻北 17—12 水沢

盛岡四 21—9 生活学園

▽同準決勝

盛岡一 27—8 一関工

盛岡四 21—16 花巻北

▽同決勝

盛岡一 19（10—6、9—9）15 盛岡四

▽女子準々決勝

盛岡二 15—5 釜石南

花巻北 11—10 岩手女子

平館 13—1 大原商

花巻南 21—2 宮古

▽同準決勝

盛岡二 12—4 花巻北

花巻南 8—4 平館

▽同決勝

花巻南 6（4—3、2—2）5 盛岡二

◆福島県

▽男子決勝トーナメント1回戦

学法石川 17—11 南会津

安積 15—13 聖光学院

▽同決勝

学法石川 17（9—9、8—7）16 安積

▽女子決勝トーナメント

長沼 15—6 安積商

緑が丘 11—7 県福島工

▽同決勝

長沼 15（6—3、9—3）6 緑が丘

◆長野県

▽男子準々決勝

小諸商 19—14 坂城

蟻ケ崎 16—15 小諸

美須々ケ丘 18—8 臼田

上田 17—11 屋代

▽同準決勝

蟻ケ崎 14—12 小諸商

美須々ケ丘 14—10 上田

▽同決勝

美須々ケ丘 21（10—7、11—5）12 蟻ケ崎

▽女子一回戦

塩尻 11—8 北佐久農

小諸商 30—0 上田城南

美須々丘 8—1 臼田

▽準決勝

佐久 14—5 塩尻

美須々丘 8—4 小諸商

▽決勝

佐久 9（6—1、3—3）4 美須々丘

◆石川県

▽男子準々決勝

小松工 28—12 北陸大谷

小松商 11—9 向陽

星稜 18—9 松陵工

小松 23—9 金商

▽同準決勝

小松工 29—14 小松商

小松 12—8 星稜

▽同決勝

小松工 17（9—4、8—4）8 小松

▽女子準決勝

小松市女 26—0 金商

小松商 16—4 短大高

▽同決勝

小松市女 22（7—3、15—0）3 小松商

◆富山県

▽男子準々決勝

氷見 29—4 富山

富山南 18—14 高岡

高岡商 24—7 八尾

高岡日大 13—6 小杉

▽同準決勝

氷見 35—8 富山南

高岡日大 12—9 高岡商

▽同決勝

氷見 21（9—9、12—2）11 高岡日大

▽女子準々決勝

有磯 13—5 高岡女

高岡商 16—1 富山東

富山女 13—8 富山北部

小杉 9—4 高岡日大

▽同準決勝

有磯 21—2 高岡商

小杉 15—7 富山女

▽同決勝

有磯 10（4—2、6—1）3 小杉

◆福井県

▽男子決勝トーナメント1回戦

武庄 10—7 藤島

福井商 19—8 勝山

▽同準決勝

北陸 21—8 武庄

羽水 21—8 福井商

▽同決勝

北陸 18（7—7、11—2）9 羽水

▽女子決勝トーナメント1回戦

福井商 7—4 武庄商

仁愛女 21—3 高志

▽同決勝
仁愛女 12（6－1、6－4）5 福井商

◆千葉県
▽男子準々決勝
市川 13－6 柏
八千代 26－10 東邦
船橋旭 21－12 千葉南
佐原 25－12 清水
▽同準決勝
市川 18－15 八千代
船橋旭 22－8 佐原
▽同決勝
市川 14（3－5、11－3）8 船橋旭
▽女子準決勝
和洋 16－3 流山中央
昭和 17－10 生浜
▽同決勝
昭和 10（3－3、3－3、3－1、1－2）9 和洋

◆茨城県
▽男子準々決勝
水海道一 21－20 笠間
勝田 12－11 下館一
岩井 12－7 太田一
土浦工 14－13 土浦三
▽同準決勝
水海道一 21－12 勝田
岩井 19－15 土浦
▽同決勝
岩井 15（9－9、6－5）14 水海道一
▽女子準々決勝
水海道二 15－9 鉾田二
太田二 9－4 麻生
結城二 9－6 岩井
笠間 9－7 下妻二
▽同準決勝
水海道二 17－6 太田二
結城二 15－6 笠間
▽同決勝
水海道二 12（4－6、5－3、0－0、3－1）10 結城二

◆群馬県
▽男子準々決勝
吉井 45－8 前橋
富岡 39－7 桐生
下仁田 13－7 藤岡
前橋商 27－10 利根農
▽同準決勝
前橋商 19－14 下仁田
富岡 12－10 吉井
▽同決勝
前橋商 19（9－8、10－5）13 富岡
▽女子準々決勝
群女短大附 7－5 吉井
前橋市女 19－2 佐藤学園
高崎女 11－9 前橋東商
下仁田 19－9 高崎市女
▽同準決勝
群女短大附 15－6 前橋市女
下仁田 21－3 高崎女
▽同決勝
群女短大附 16（8－3、8－1）4 下仁田

◆東京都
▽男子準々決勝
駒大高 31－14 早大学院
拓大一 15－14 佼成
中大付 37－17 三宅
明星 20－9 新宿
▽同決勝リーグ
駒大高 32－3 拓大一
中大付 25－18 明星
駒大高 19－19 明星
中大付 38－9 拓大一
中大付 19－14 駒大高
明星 25－10 拓大一
【順位】①中大付②駒大高③明星④拓大一
▽女子準々決勝
藤村女子 20－6 府中西
日体桜華 11－7 五商
桐朋女子 16－2 広尾
拓大一 12－3 府中
▽同決勝リーグ
日体桜華 10－8 藤村女子
拓大一 14－5 桐朋女子
桐朋女子 5－3 日体桜華
藤村女子 7－3 拓大一
拓大一 11－5 日体桜華
桐朋女子 7－6 藤村女子
【順位】①拓大一②桐朋女子③日体桜華④藤村女子

◆静岡県
▽男子準々決勝
静岡農 15－12 土肥
富士 18－10 浜松湖東
清水市商 21－13 清水東
静岡東 19－14 星陵
▽同準決勝
静岡農 17－10 富士
清水市商 12－10 静岡東
▽同決勝
清水市商 16（6－3、10－8）11 静岡農
▽女子準決勝
静岡城北 19－6 気賀
清水市商 7－6 二俣
▽同決勝
清水市商 6（4－3、2－1）4 静岡城北

◆三重県
▽男子決勝リーグ
四日市工 27－6 桑名工
尾鷲 18－6 桑名工
四日市工 19－11 尾鷲
【順位】①四日市工②尾鷲③桑名工
▽女子決勝リーグ
暁 24－2 四日市商
津女子 23－5 四日市商
暁 10－7 津女子
【順位】①暁②津女子③四日市商

◆愛知県
▽男子準々決勝
愛知 19－14 半田
中京 18－16 豊橋工
一宮 22－13 横須賀
名南工 11－9 岡崎城西
▽同準決勝
中京 17－10 愛知
一宮 19－17 名南工
▽同決勝
一宮 24（10－11、14－10）21 中京
▽女子準々決勝
市邨学園 20－7 尾西

旭野 10－3 吉良
緑丘商 11－7 佐屋
名短大付 19－6 岩津
▽同準決勝
市邨学園 15－6 旭野
名短大付 19－3 緑丘商
▽同決勝
市邨学園 16（6－4、10－2）6 名短大付

◆大阪府
▽男子決勝リーグ
比花学院 11－9 摂津
桃山学院 19－8 浪商
此花学院 14（分）14 桃山学院
摂津 13－9 浪商
此花学院 19－14 浪商
桃山学院 11－8 摂津
【順位】①桃山学院2勝1分②此花学院2勝1分③摂津④浪商
▽女子決勝リーグ
枚方 6－5 大阪市立
春日丘 5－4 四天王寺
春日丘 7－5 枚方
四天王寺 9－6 大阪市立
枚方 9－5 四天王寺
春日丘 8－3 大阪市立
【順位】①春日丘3戦全勝②枚方2勝1敗③四天王寺④大阪市立

◆宮崎県
▽男子準々決勝
小林工 39－14 都城商
延岡 21－17 宮崎南
泉ケ丘 28－22 都城工
日南工 27－21 宮崎一
▽同準決勝
小林工 26－17 延岡
泉ケ丘 22－17 日南工
▽同決勝
小林工 24（11－10、13－11）21 泉ケ丘
▽女子準々決勝
小林商 10－4 延岡
宮崎一 16－9 妻
泉ケ丘 11－5 都城商
西都商 22－5 宮崎商
▽同準決勝
小林商 16－7 宮崎一
西都商 8－4 泉ケ丘
小林商 12（4－3、8－3）6 西都商

◆大分県
▽男子決勝リーグ
大分電波 33－4 鶴見丘
大分東 20－12 鶴見丘
大分電波 22－6 大分東
【順位】①大分電波②大分東③鶴見丘
▽女子決勝トーナメント1回戦
佐賀関 14－4 雄城台
大分東 12－2 中津北
▽同決勝
大分東 13－8 佐賀関

◆福岡県
▽男子準々決勝
小倉西 34－2 福岡
福岡工 11－9 三池
東海五 16－15 若松
久工大付 20－7 西陵
▽同準決勝
小倉西 30－15 福岡工
久工大付 26－9 東海五
▽同決勝
小倉西 15（9－5、6－7）12 久工大付
▽女子準々決勝
筑紫女学園 17－6 春日
浮羽 10－4 若松
東海五 16－5 粕屋
香椎 12－10 宗像
▽同準決勝
筑紫女学園 11－2 浮羽
東海五 8－7 香椎
▽同決勝
筑紫女 13（3－3、6－6、2－1、2－2）12 東海五

◆佐賀県
▽男子決勝
佐賀農 12（6－4、6－6）10 神埼
▽女子決勝リーグ
佐賀女 8－4 嬉野商
神埼農 13－5 佐賀東
佐賀女 17－4 佐賀東
神埼農 10－7 嬉野商
嬉野商 7－6 佐賀東
神埼農 9－8 佐賀女
【順位】①神埼農②佐賀女③嬉野商④佐賀東

▼以上19府県の県予選結果です。未掲載の都道府県は至急記録を日本協会編集委員会宛送付下さい。

IHF（世界ハンドボール協会）役員選挙結果

会長 ポール・ヘグベルグ（スエーデン）
第一副会長 ウラジニール・クリコフ（ソ連）
第二副会長 アルベルト・サンロラン（スペイン）
第三副会長
（アジア） アルサバード（クエート）
（アフリカ） ハバカール・フォール（セネガル）
（アメリカ） シェッド・ヘルム（メキシコ）
事務総長 マックス・リンケンバーガー
会計 ペダーセン（デンマーク）
COC委員長（組織・大会） ワッドマーク（スエーデン）
PRC委員長（規則・審判） カール・ワン（ノルウェー）
CCM委員長（コーチ・手法） ゲルマネスク・クンスト（ルーマニア）
PMC委員長（医務） マドラッシュ（ハンガリー）
CPD委員長（広報・普及） ザイラー 新任（東独）
常任理事 ワッドマーク（スエーデン）
大陸代表理事
（アメリカ） ペーター・ヴェニング（アメリカ）
（アフリカ） 未定
（アジア） 渡辺和美（日本）
ヨーロッパ大陸理事 ジュバルツ（スイス）
パイユー（フランス）
会計監査 アルベルト・ジョーダン（スイス）
エイナー・キャスベルセン（ノルウェー）
補佐 F・ボッシュ（CSSR）
F・グローナー（オランダ）

IHF総会より

10連勝狙う大阪イーグルス

★全日本教職員選手権大会

第23回（女子第8回）全日本教職員選手権大会は、8月8日から12日まで、滋賀県彦根市の彦根工高グランドと彦根市体育センターで行われる。

参加チームは、男子が32都府県から44チーム、女子が10チームでいずれもトーナメント方式で優勝を争う。

男子の優勝争いは、何といっても日本リーグ加盟の大阪イーグルスが一番手、昨年2位の栃の葉クラブ（栃木）がどこまで追いあげるか興味深い。このほか昨年3位のスワロー兵庫、宮崎教員、愛知教員、千葉教員なども意欲は充分である、ホームチームの滋賀教員もベスト4になるチャンスと見た10連勝を目指す大阪イーグルスは、日本リーグという強み、練習量からいっても、教職員チームでは歯が立たない。しかし、10連勝を阻止しようとするチームが出る事を期待したい。特に、栃の葉クの闘志は注目されるところだ。

栃の葉クラブは、今年の国体開催県でもあり、若手の強化も順調に進んでいると聞く。大阪イーグルスを破るとすれば、この栃の葉クラブであろう。

また昨年はインターハイを迎え充分な練習量をこなせなかったにもかかわらず、3位の成績をあげたスワロー兵庫も練習を重ねて今大会に望むものと思われる。

このほか、試合運びの巧さで常に上位進出を果してきた茨城コンドルスが今回エントリーしなかったのは残念である。

8年目の女子は、昨年優勝の栃の葉女子教員（栃木女子教員）が昨年よりさらに精鋭を加えて連勝の記録をのばそうとしている。対抗と目されるのは大阪教員、武蔵野ク（東京）、神奈川教員などで、いずれも栃木に一矢をとファイトをもやしている。

女子の優勝候補には、まず昨年優勝の栃の葉女子教員が挙げられる。しかし昨年苦敗をなめさせられた大阪教員も簡単には引きさがらないと思われるので、この一戦は特に期待したい。

この教職員大会は、例年国体のリハーサル大会としておこなっている。国体を来年迎える滋賀県にとって、本大会は注目すべき大会である。それは単に大会運営に対してだけでなく、競技者の一挙手一投足に対しても注がれるであろう。

本大会は全国の指導者が一堂に会しての大会である。指導者としてのマナーも充分に発揮し、指導者の大会としてふさわしい大会にしたいものである。

◇ハンドボール研修会

全日本教職員連盟は、全日本教職員選手権大会開催前日の8月7日午後4時から、滋賀県彦根市、彦根市民会館でハンドボール研修会を開催する。

本研修会は、回を重ねるごとにその発表内容も充実してきており指導者としての資質を養なう上で有益なものとなる。

またこの研修会の発表内容は、紀要として残される。昨年（第2集）の紀要希望者は、教職員連盟まで申し込み下さい。

埼玉県戸田市新曽一〇九三
県立戸田高校内　全日本教職員連盟（〒三三五）宛

◇……男子……◇

大阪イーグルス
長崎教員
A・T・F（愛知）
群馬教員
三重教員
岡山教員
静岡教員ク
神奈川教員
大阪ハンターズ
広島教職員
新潟教員
大阪教員ク
千葉教職員ク
三重ガラクトーズ
滋賀教員
山口県教員団
千葉教員
愛知教員B
長野教員
ロイヤルスワロー（兵庫）
熊本教員
山梨教員
スワロー兵庫
埼玉教員ク
福岡教員
島根教員
静岡県教員団
オールドイーグルス（大阪）
宮崎教員
和歌山教職員ク
愛知教員C
東京教員
福井教員
香川教員
岐阜教員
京都教員ティーム
富山教員
神奈川教員B
茨苑ク（茨城）
佐賀教員
山口県教員団B
愛知教員
奈良教職員
栃の茅ク（栃木）

◇……女子……◇

栃の茅女子（栃木）
白小鳩（埼玉）
風見鶏ク（兵庫）
東花ク（東京）
桜球会（富山）
大阪教員
愛知教員
武蔵野ク（東京）
熊本教員
神奈川教員

大阪体大、名城かわし9連勝

女子は武庫川女が5連覇

西日本学生

第19回（女子第10回）西日本学生選手権は、6月28日から7月1日までの4日間、山口県立体育館、山口大学体育館に、東海、関西、中四国、九州の4学連から男子29、女子10校を迎えトーナメント法式で行われた。

インカレへの予選大会となって初の開催だけに、各校ともこれまでにない熱のいれかたで熱戦をくりひろげたが、男子は、関西1位、大阪体大×東海1位・名城が4回連続して決勝で対決、大接戦の末大阪体大が終盤、加点して9回連続優勝を決めた。

女子は関西ナンバーワンの武庫川女大が文句なしの5回連続優勝を飾った。

▽男子1回戦

九州産大（九州）23（9 14－10 6）16 岐阜大（東海）

福岡大（九州）37（19 18－8 7）15 大阪大（関西）

近大（関西）32（11 21－3 4）7 愛媛大（中四国）

山口大（中四国）32（16 16－10 7）17 大分大（九州）

京都産大（関西）30（17 13－11 4）15 西南学院（九州）

修道（中四国）27（16 11－13 8）21 九州大（九州）

鹿児島大（九州）25（13 12－7 6）13 名大（東海）

名古屋学院（東海）21（14 7－6 9）15 関大（関西）

中京（東海）28（16 12－7 11）18 大阪府大（関西）

久留米工大（九州）30（14 16－4 10）14 広島工大（中四国）

広島大（中四国）20（9 11－9 10）19 熊本大（九州）

同志社（関西）22（13 9－13 6）19 福岡教大（九州）

宮崎大（九州）26（10 16－14 11）25 岡山大（中四国）

○…上り坂同士・久留米工大×広島工大は、両校とも動きが固くミスが目立ったが、前半15分8－3と開いた久留米が、そのままのペースで押し切り、期待はずれの凡戦に終った。

このほかでは、名古屋学院が星野の活躍で関大に逆転勝ちした試合と、同志社に食い下った福岡教大の健闘が目立った。

広島大×熊本大は、広島が残り6分17－19から一気に逆転、宮崎大×岡山大は、宮崎大が残り2分で得たPTを決め、逃げこんだ。

久留米工大、中京降す

▽同2回戦

大阪体大（関西）37（19 18－4 8）12 修道

鹿児島大 21（8 13－11 6）17 名古屋学院

久留米工大 26（13 13－9 11）20 中京

同志社 21（12 9－14 6）20 広島大

大阪経大（関西）31（16 15－9 6）15 宮崎大

九州産大 37（19 18－4 8）12 福岡大

近大 30（17 13－11 13）24 山口大

名城（東海）31（18 13－9 10）19 京都産大

○…久留米工大が中京を破った春季リーグを部内事情で棄権していた中京は、やはり実戦のカンが鈍く、特に後半の攻めの荒さが敗因となった。

久留米は、前半10分3－6の劣勢のあと約15分間、相手の攻撃を1点におさえた守りが大きい。

同志社×広島大は広島が残り10分17－18に追いつき波乱を期待させたが、同志社は慌てず、すぐに2点を奪い辛勝。

名城、近大に押し勝つ

▽同準々決勝

大阪体大 36（18 18－7 8）15 鹿児島大

○…国立大として唯一ベストエイトに勝ち残った鹿児島大の健闘も、攻守に充実した大体大の前には、なす術がなかった。

前半から大体大は、快調なペースでとばし、相手につけいるスキを与えなかった。

結果的には、大差の試合であったが、両チームともテンポのある攻守を展開、好感のもてる試合だった。

同志社 23（12 11－11 9）20 久留米工大

○…開始早々、連続得点した同志社に対し、久留米はコンビが合わず単調な攻撃になり、さらにリードを許してしまった。

後半も同志社の速攻で一方的な試合になるかと思われたが、久留米も中盤からコンビが整いだし、反撃したが、あと一歩のところで及ばなかった。

大阪経大 25（15 10－10 5）15 九州産大

○…前半、大経大が得意の足を生かし先行したが、セットから得点をあげることができなかったため、九産大の追いあげを許した。

九産大は、後半、速攻でペースをつかみかけたが、10分すぎから逆に大経大に巻き返され、終盤は遅攻にも精彩をとり戻した大経大に突き放された。

名城 25（12 13－10 6）16 近大

○…地力に優る名城が、大型GK箕輪の頑張りもあって、圧倒勝ちした。

近大も速攻で反撃、後半は互角の試合運びをみせたが、名城は、前半の大差で、つねに落ち着きがあり、勝機はなかった。

大経大、前半の優位守れず

▽同準決勝

大阪体大 29（13 16－9 9）18 同志社

得	【体大】			【同志】	得
0	矢永	GK	GK	堀内	0
0	小野	GK	GK	渡井	0
5	安田	FP	FP	古川	1
7	砂川	FP	FP	粟屋	5
0	亀井	FP	FP	樫野	1
0	竹内	FP	FP	神之田	4
1	上野	FP	FP	石橋	0
2	菅沼	FP	FP	蟹江	0
9	玉村	FP	FP	高砂	2
4	土山	FP	FP	森重	1
0	半田	FP	FP	宮下	4
1	山本	FP	FP	山田	0
29	（4）	PT		（0）	18

（審・片山　古富）

★ベストセブン

（男子）▽GK矢永（大阪体大）▽FP砂川、玉村（以上大阪体大）、玉井、林（以上名城）加藤（大阪経大）、粟屋（同志社）

（女子）▽GK宮崎（武庫川女）▽FP沢村、清水（以上武庫川女）、山本、鈴木（以上中京）、辰巳（大阪体大）、堀井（中京女大）

○…大体大は立ちあがりスピードのある攻撃で相手守備網を切りさき7分6－1、そのあとも着実に加点した。同志社はいちど2点差に詰めたが、大体大には余裕があり、勝機をつかむことはできなかった。

名　城 17（7－9，10－5）14 大阪経大

【経大】	得		【名城】	得
中尾	0	GK	簑輪	0
末続	0	GK	菊地	0
南	3	FP	玉井	7
山本	0	FP	中村	2
加藤	4	FP	纐纈	0
植野	2	FP	長谷	0
船橋	0	FP	立木	2
高野	2	FP	古橋	3
御牧	3	FP	林	3
窪田	0	FP	平井	0
依藤	0	FP	藤沢	0
中野	0	FP	竹田	0
14	（2）	PT	（4）	17

（審・福田、佐伯）

○…大経大は鋭い動きで後半16分まで先行していたが、名城もよく粘り19分13－13の同点、さらに20分PT、21分中村とたたみかけ大経大の反撃を植野の1点におさえて、鮮やかな逆転勝ち。

▽3同位決定戦

同志社 20（7－7，13－9）16 大阪経大

○…後半18分13－13から同志社は粟屋、高砂で先行、経大も御牧でいちどは一点差としたが、同志社はPTと粟屋の活躍で加点、経大を引き放した。

大体大、巧みに流れつかむ

▽同決勝

大阪体大 18（7－7，11－10）17 名　城

【名城】	得		【体大】	得
簑輪	0	GK	矢永	0
菊地	0	GK	小野	0
玉井	3	FP	安田	3
中村	4	FP	砂川	6
纐纈	1	FP	亀井	1
長谷	0	FP	玉村	3
立木	5	FP	山本	3
古橋	0	FP	菅沼	1
林	4	FP	竹内	0
平井	0	FP	上野	0
藤沢	0	FP	平田	0
竹田	0	FP	上山	1
17	（1）	PT	（4）	18

（審・片山、古富）

○…4年連続の決勝カード。序盤10分5－4と大体大が一歩リードし、その優位を25分まで保っていたが、名城は29分30秒立木で7－7と振り出しへ戻した。

後半も一進一退の展開になり13分12－12、予断を許さなかったが大体大は14分安田、16分PTで再びペースを握り、名城は18分立木のゴールで13－14としたものの、大体大はすぐ玉村のロングとPTで16－13、勝利をほぼ決定づけた。

大体大が微妙な試合の流れを巧くとらえた試合といえる。

女子で福岡教大の健闘光る

▽女子1回戦（2試合）

山口大（中四国）19（10－5，9－3）8 大阪教大（関西）

福岡教大（九州）20（13－11，7－4）15 成蹊女短大（関西）

▽同準々決勝

中京女大（東海）13（6－4，7－4）8 九州女短大（九州）

武庫川女（関西）21（9－1，11－12）13 山口大

中　京（東海）15（6－4，9－5）9 福岡大（九州）

大阪体大（関西）13（7－7，6－4）11 福岡教大

○…順当な結果だったが、そのなかで福岡教大の健闘が目についた。

成蹊戦では互角の戦況から後半開始直後、曽我部、和田で主導権を守り、相手の切り札・正本へのヤークも固く、20分18－13として勝負を決めた。

大体大戦も後半10分9－9とゆずらなかったが、そのあと大体大GK竹山の堅守にあって追加点がなく、その間2本のPTなどで4点を失って惜しくも敗れた。

このほか九州女短大、福岡大も関西、東海勢に食い下り、九州女子学生界のレベルアップを印象づけた。

▽同準決勝

中　京 11（7－5，4－3）8 大阪体大

【体大】	得		【中京】	得
竹山	0	GK	森岡	0
吉田	0	GK	竹内	0
辰己	3	FP	鈴木	5
市原	0	FP	山木	3
中里	0	FP	河辺	0
吉本	1	FP	井上	1
塚田	0	FP	田口	1
伊勢	4	FP	稲垣	1
小川	0	FP	長越	0
筒井	0	FP	中島	0
西岡	0	FP	富田	0
望月	0	FP	蜂須賀	0
8	（0）	PT	（3）	11

（審・福田、佐伯）

○…後半15分6－10から大体大は伊勢の連続得点で迫り、反撃に興味をもたせたが、中京はよく踏んばり勝ちあがった。

武庫川女 12（5－1，7－3）4 中京女

【中女】	得		【武庫】	得
松下	0	GK	宮崎	0
小間	0	GK	永谷	0
盛里	0	FP	沢村	1
木野村	0	FP	清水	4
四堂	0	FP	西川	0
山田	1	FP	長谷川	4
伊藤	0	FP	川合	1
藤崎	0	FP	玉置	1
清家	0	FP	中村	0
森	0	FP	富田	1
堀井	0	FP	藤山	0
大久保	3	FP	森脇	0
4	（3）	PT	（2）	12

（審・古富、片山）

○…武庫川が攻守に中京女を圧倒した。武庫川の攻撃は春季リーグよりさらにスピードが乗っており、中京女はゆさぶられ通しだった。また守っても中市女の攻撃をフィールドゴール1点に留めるなど完勝だった。

▽同3位決定戦

中京女 9（5－6，4－2）8 大阪体大

▽同決勝

武庫川女 19（7－3，12－2）5 中　京

【中京】	得		【武庫】	得
森岡	0	GK	宮崎	0
竹内	0	GK	畑添	0
鈴木弓	3	FP	沢村	4
山木	1	FP	清水	9
稲垣	0	FP	西川	0
田口	0	FP	長谷川	0
井上	0	FP	川合	2
渡辺	0	FP	玉置	2
河辺	0	FP	中村	0
長越	0	FP	富田	2
中島	0	FP	藤山	0
富田	1	FP	神並	0
5	（1）	PT	（2）	19

（審・佐伯、福田）

○…武庫川の仕掛けは早く、前半15分、もう5－0と開いてしまった。

先制すればあるいは、と思われた中京だが、逆に先手をとられては策のたてようもなく、後半は、武庫川の一方的な展開で、決勝らしい緊迫感は、ほとんどなかった。

東日本学生は12日から

第2回東日本学生選手権は、8月12日から16日まで東京・駒沢体育館（12、13、14日は日体大健志台体育館併用）に、男子21校、女子6校が参加して開かれるが、予選リーグの組み分けが決まった。

男子は各組1位の7校による決勝トーナメント、女子は各組1、2位のベストフォアによる決勝トーナメントで優勝を争う。

この東日本学生選手権も西日本学生選手権と同様、全日本インカレの予選大会となっているので、第回大会以上に熱気あふれる大会となることが予想される。

▽男子予選リーグ・A組　中大、東海大、芝浦工大
・B組　日体大、順天堂大、明大
・C組　早大、慶大、神奈川大
・D組　筑波大、明星大、金沢大（北信越）
・E組　日大、青山学院大、金沢工大（北信越）
・F組　法大、茨城大、東北学院大（東北）
・G組　国士館大、立大、函館大（北海道）

▽女子予選リーグA組　日体大、東京学芸大、日女体大
・B組　筑波大、東女体大、横浜国大。

「クラブ」の問題

大西武三
（日本協会普及担当常務理事）

クラブ対策は本年度の日本協会の重点事業の一つとしてとり上げられている。クラブの問題が表面化してきたのは、昭和三〇年代の後半、企業のバックアップを受ける実業団チームが、全国的な大会で成果を収め始めてからである。従ってそれ以来の懸案事項となっているが、今だに解決に至らないのは、この問題の解決に当っては協会全体の進路にかかわる問題であり、又非常に多くの要素が絡まり合っているためである。関係者の多大な努力又、いろいろな施策をしてきた今、何とかして解決すべきであると痛感する。

クラブ問題の経過

今一度、クラブ問題の経過を大ざっぱに振り返ってみたい。

昭和32年に初めての実業団チーム愛知紡績が誕生し、その後、大崎電気や大洋デパート、レナウンなど企業のバックアップを受ける強豪チームが次々と誕生し、昭和39年の全日本総合には女子のベスト8が実業団チームによってしめられ、男子も昭和40年には全日本総合の予選において、いわゆるクラブの名門であり強豪チームである桜丘会や清商クラブが新進の実業団チームによって敗去り、クラブチームの衰退が、際立ち始めた競技力の高いチームの出現は、レベルアップという面で非常に評価すべきであるが、同時に中央の大会に向けてチームを組み活動をしてきた底辺の一般クラブチームには大きな打撃を被ることになり、ここにクラブ問題がもちあがり、クラブの進むべき道が真剣に論議されることとなった。実業団連盟が設立されたのは、昭和40年であるが、その後、順調に実業団連盟は発展の道を歩むが、クラブも各地で、独自の歩みを始め出した。愛知クラブ連盟は、昭和41年に設立され、切実となっているクラブ対策をしり目に独自の活動を始めクラブの進む方向を示すようになった。その後、昭和45年に日本協会がクラブ対策としてブロック大会を奨励する方針を出すまでの5年間は、クラブ問題をめぐって各種の意見がかわされた時期であり又実際に各地で、クラブ独白の大会が持たれ始めた時期でもあった。一般クラブと自衛隊と実業団を一まとめにした全日本社会人連盟の構想が、全日本実業団連盟から出されたのもこの頃である。ブロックの大会は、昭和45年、東海、近畿で開催されて以来順次各地で開催され54年度に全ブロックで行なわれるまでになっている。クラブ大会が各地で開催され、新しい方向で行なわれるようになった全日本総合への社会人代表を選出するのに当って、大会参加の基準を明確にする必要性が生まれたクラブの基準を明確にするのは非常に困難なことであり、結論を出すに当っては難航したが、昭和48年1月の全国評議員会で可決され同年の四月から施行されることとなった。

昭和50年51年は、全国クラブ大会の実施を見体的に検討を始めた時期である。協会普及部長（勝繁夫氏）は普及部内にクラブ担当（主任岡田重博氏）を設置し、クラブ問題を論議するとともに、クラブ担当の手によって、全国のクラブの実態が調査され報告されている（51年2月）。51年12月「全国クラブ担当者会議」が初めて開催され、その席で「全国クラブ大会」が現実味を持って話し合われ、細部の調整と可否を合めて、普及部のクラブ担当、小委員会で充分に検討を加えられることとなった。こうした普及部を中心とした全国大会へ向けての流れが進む中で、昭和51年12月、岐阜県協会の主催する全国女子クラブ選手権が行われ、また52年の7月には静岡県の主催する全国クラブ大会が実施された。その後、クラブ問題は新たな進展をみせていないで現在に至っている。

普及部クラブに担当小委員会の要望

51年に「全国クラブ担当者会議」が開催された折に「クラブ小委員会が普及部に設置され、今も継続して活動をしているが、55年7月に開催された全国クラブ大会の折に会議が持たれた。この小委員会での要望事項は大まかに次の三点である。

一、全国大会を協会主催でやってもらいたい。

二、全国的にクラブを統轄する組織（クラブ連盟）を設置してもらいたい。

三、登録方法を改善していただきたい。

最初の点については、日本協会としては、理事長の機関紙における度々の談話に見受けられるように又これに向ってクラブ問題は対処してきたこともあり開催の可能性は非常に高い。次の組織づくりについては、協会の進む方向とも関係し合うことであり慎重さが必要である。全国クラブ連盟設立となるとますます協会の組織が縦割り化の方向に進むことになり、都道府県を中心として発展するのが本来の姿だとする協会の考えとは逆行することになりかねない。クラブ担当者は「連盟」に固執しているわけでなく、クラブの立場を確立できるような組織ができればそれでよしとしていると私は理解している。第三の登録については県単位で活動するクラブにとっては費用も高く又個人の登録までするのは煩雑であるということである。登録人口は、ハンドボールが社会的に評価されるバロメーターである。登録方法が実状に合わないために登録人口を減らしているとすれば改善されるべきだと思う。競技人口は確かに年々増加しているが、望まれている方向で増大しているかどうかは一度調査をしてみる必要がある。余暇の増加によるスポーツ人口の増加・生涯教育が望まれる社会的背景など一般の競技人口は増加してもよい要素は多分にある。しかし競技人口の増加は高校生の増加によって支えられ、本来もっと増加すべき一般の人口が減少している。日本協会としては、クラブ対策を重点事業としている以上、今年を最終期限として解決をはかる必要があると思う。

給与の
お引き出しに…

出張に…

ショッピングに…

銀行が
閉まった後で…
(ダイワの外壁や ☑ コーナー)

旅行に…

ふいの出費に…

こんなとき便利な ダイワ キャッシュカード。

日常のお引き出しに…
カード1枚で現金自動支払機から手軽に現金が引き出せます。通帳もハンコもいりません。サイフがわりにご利用を…。

時間外のお引き出しに…
ダイワの外壁に面したキャッシュコーナーでは、平日午前8:45～午後6:00(土曜日は午前9:00～午後2:00)まで、また☑マークのコーナーでは、平日午後5時、土曜午後2時まで現金が引き出せます。

ご出張やお買物の折に…
お出かけ先で現金がご入用になったときダイワの全店にあるキャッシュコーナーや☑マークのコーナーがお役に立ちます。

給与のお引き出しに…
給与振込制をご採用の場合は、お給料日の朝からカードを使って引き出せます。奥さまもご自宅近くのダイワでどうぞ…。

ダイワキャッシュカードは総合口座(普通預金)をご利用の方におつくりしています。お気軽にお申込みください。

あなたと明日を
預金も
信託も…
大和銀行

☑マークのコーナーでは設置場所により、お取扱い時間が異なる場合があります。
また、日・祝日および設置場所の休業日はお取扱いしません。

西部日本学生、30年の球史閉じる

九州、中四国学連による第30回（女子第8回）西部学生選手権は、6月14日から16日までの3日間、久留米県立体育館などで男子21校、女子4校が参加して行われた。

男子は、前年優勝の久留米工大（九州）が、今年も抜群の攻撃力を示して勝ち進み、決勝でも福岡大（九州）にたえず先行して制勝、2連勝を飾った。

九州勢4校による女子は、福岡教大がうまく波にのり4年ぶり3度目の優勝をとげた。

なお、昭和26年から始められたこの大会は、本年度をもって30年にわたる球史に、ピリオドを打つことになった。

▽男子1回戦
福岡教大（九州）22（8―5、14―5）10 熊本商大（九州）
修道（中四国）19（10―6、9―5）11 長崎大（九州）
熊本大（九州）25（10―2、15―2）4 西日本工大（九州）
九州大（九州）27（10―7、17―9）16 熊工本大（九州）
鹿児島大（九州）30（13―7、17―4）11 九州工大（九州）

▽同2回戦
久留米工大（九州）30（15―4、15―5）9 福岡教大
修道 19（8―6、11―7）13 東和大（九州）
西南学院（九州）28（17―5、11―11）16 沖縄国際大（九州）
熊本大 18（9―9、9―8）17 山口大（中四国）
九州産大（九州）24（14―7、10―6）13 広島大（中四国）
香川大（中四国）21（11―9、10―6）15 九州共立大（九州）
福岡大（九州）31（13―6、18―7）13 九州大
鹿児島大 21（9―10、12―5）15 大分大（九州）

▽同準々決勝
久留米工 39（18―7、21―6）13 修道
福岡大 28（14―11、14―10）21 九州産大
熊本大 24（9―9、9―9：5―2、1―2）22 西南学院
鹿児島大 30（14―6、16―12）18 香川大

▽同準決勝
九留米工大 35（18―10、17―9）19 熊本大
福岡大 26（10―9、10―11：3―0、3―2）22 鹿児島大

▽同3位決定戦
鹿児島大 22（12―8、10―9）17 熊本大

▽同決勝
久留米工大 25（14―10、11―12）22 福岡大

▽女子1回戦（＝準決勝）
福岡教大（九州）23（15―6、8―10）16 福岡大（九州）
九州女短大（九州）38（18―0、20―3）3 鹿児島女短大（九州）

▽同3位決定戦
福岡大 38（12―1、26―3）4 鹿児島女短大

▽同決勝
福岡教大 21（11―9、10―9）18 九州女短大

九州学連・佐伯紘一理事長の話

30年前、山口大学の藤田信義先生の発案で、中四国、九州の大学対抗試合として始った大会ですが近年は、両学連とも加盟校が増えて大会も多くなり、また、今年度からは、東、西日本学生が全日本学生の〝予選大会〟という性格にもなったため、この大会の歴史を閉じることになりました。

中四国、九州両学連の拡充をみても、この大会の目的は充分、遂げられたと思います。

終会にあたり30年の多年にわたって、中四国九州両学生界の発展につくされた藤田先生に感謝の意を表するものです。

西部日本学生歴代優勝校

【男子】

回	年	優勝校
①	昭26	山口大
②		山口大
③		山口大
④		山口大
⑤		山口大
⑨		熊本商大
⑦		熊本商大
⑧		山口大
⑨		山口大
⑩		山口大
⑪	昭36	熊本商大
⑫		広島商大
⑬		広島商大
⑭		広島商大
⑮		広島商大
⑯		西南学院
⑰		西南学院
⑱		山口大
⑲		松山商大
⑳		山口大
㉑	昭46	松山商大
㉒		九州産大
㉓		九州産大
㉔		九州産大
㉕		九州産大
㉖		熊本商大
㉗		福岡大
㉘		福岡大
㉙		久留米工大
㉚	昭55	久留米工大

【女子】

回	年	優勝校
①	昭48	山口大
②		山口大
③		福岡教大
④		福岡教大
⑤		九州女短大
⑨		九州女短大
⑦		福岡大
⑧	昭55	福岡教大

武庫川女2連勝　関西女子学生総合

第2回関西女子学生総合選手権は6月7日から15日までの3日間京都・立命館大学体育館などに、関西学連女子1、2部の9校が参加して行われた。

3校づつ3組の予選ラウンドでは、関西学生春季1位の武庫川女同2位の大阪体大が順当勝ちしたが同3位の京都教大は大阪体大におさえられて姿を消し、代って春季4位の大阪教大が勝ちあがった。

決勝リーグは武庫川女が、一、二年生主体ながら大阪体大、大阪教大戦ともに、前半で主導権を握り制勝。2連勝を飾った。二位争いは大阪体大が大阪教大を降した。

▽予選ラウンドA組
大阪体大 22―3 京都教大
大阪体大 15―7 成蹊女短大
京都教大 14―12 成蹊女短大

▽同B組
神戸大 8―4 京都女大
武庫川女 33―0 神戸大
武庫川女 28―1 京都女大

▽同C組
大阪教大 19―3 大阪薬大
大阪教大 22―8 奈良教大
奈良教大 9―7 大阪薬大

▽7～9位決定リーグ
成蹊女短大 24―9 京都女大
成蹊女短大 17―1 大阪薬大
京都女大 9―3 大阪薬大
【順位】⑦大阪成蹊女短大⑧京都女大⑨大阪薬科大

▽4～6位決定リーグ
京都教大 不戦勝 奈良教大
神戸大 不戦勝 奈良教大
京都教大 22―2 神戸大
【順位】④京都教大⑤神戸大⑨奈良教大

▽決勝リーグ
武庫川女 7（5―1、2―3）4 大阪体大
大阪体大 14（7―3、7―3）6 大阪教大
武庫川女 13（8―1、5―3）4 大阪教大
【順位】①武庫川女②大阪体大③大阪教大

◇各地学生春季リーグ戦 ③

東北学院、3季ぶり

東北

東北学生春季リーグ戦は、6月13日から15日まで仙台の東北大学中央体育館に男子9校が集まり行われた。

3校づつ3組の予選リーグでは A組で岩手大、C組で福島大が順当勝ち、注目のB組は、東北学院が3連覇を狙う仙台大と東北大をかわし一位となった。

各組勝者による決勝リーグは、福島大有利とみられたが、緒戦で優位の戦況を東北学院の粘りにあって落とし、波にのった東北学院大が岩手大にも快勝、3シーズンぶりの優勝を飾った。

▽予選リーグ・A組
弘前大 25—20 東北大工学部
岩手大 17—13 弘前大
岩手大 17—15 東北大工学部

▽同B組
東北学院 17—16 東北大
東北学院 25—19 仙台大
仙台大 21—16 東北大

▽同C組
宮城教大 23—12 山形大
福島大 26—10 宮城教大
福島大 29—15 山形大

▽決勝リーグ
東北学院 21（12—7、9—13）20 福島大
福島大 14（6—8、8—4）12 岩手大
東北学院 30（14—10、16—10）20 岩手大

【順位】①東北学院②福島大③岩手大＝以上3校は8月の東日本学生選手権に出場

▽4～6位決定リーグ
仙台大 25（11—12、14—7）19 宮城教大
弘前大 20（10—7、10—8）15 宮城教大
仙台大 31（16—3、15—8）11 弘前大

【順位】④仙台大⑤弘前大⑨宮城教大

▽7～9位決定リーグ
東北大 21—15 山形大
山形大 23—13 東北大工学部
東北大 19—14 東北大工学部

【順位】⑦東北大⑧山形大⑨東北大工学部

仙台6大学も東北学院

在仙台の6大学によるリーグ戦は5月17、18、25日の3日間、東北大で行われ、東北学院が5戦全勝で優勝を飾った。

東北学院 31—17 東北工大
宮城教大 14—10 東北大
仙台大 22—12 東北学院(工)
東北学院 29—16 東北大
仙台大 17—16 東北工大
宮城教大 20—9 東北学院(工)
東北学院 30—17 仙台大
宮城教大 24—14 東北工大
東北大 28—5 東北学院(工)
東北学院 19—14 宮城教大
仙台大 19—14 東北大
東北学院(工) 17—16 東北工大
東北学院 31—22 東北学院(工)
宮城教大 16（分）16 仙台大
東北大 30—17 東北工大

【順位】①東北学院5戦全勝②宮城教大・仙台大3勝1分1敗④東北大2勝3敗⑤東北学院工学部1勝4敗⑨東北工大5敗

中四国で広島工大「初」

中四国学生春季リーグ戦は、5月31日、6月1日の両日広島県立体育館で行われ、男子1部(5校)は、広島工大が接戦をつづけながらも4戦全勝、初優勝を飾った。

広島工大は、昨秋2部優勝し、11シーズンぶりに1部へ返り咲いたばかりである。3連勝を狙った広大福山は4位。

また同2部（5校）は、岡山大が3度目、5月上旬に行われていた同3部（5校）は山口大工学部が勝った。

【1部順位】①広島工大4戦全勝②山口大2勝2分③広島大2勝1分1敗④広島大福山1勝3敗⑤島根大4敗。

中央と筑波大

▼第16回関東学生新人トーナメント（6月）

▽男子準々決勝
中央 21—18 国士館
法政 31—17 横浜国大
筑波 27—12 順天堂
日体 36—15 慶応

▽同準決勝
中央 25—17 法政
日体 24—22 筑波

▽同3位決定戦
筑波 24—18 法政

▽同決勝
中央 25（12—11、13—11）22 日体

▽女子3・4位決定戦
東女体大 18—15 日女体大

▽同決勝
筑波 13（7—5、6—6）11 日体

大体大が快勝

▼昭和55年度関西学生男子新人戦（6月）

▽準々決勝
京大 39—7 大阪体大
神戸大 26—20 大阪大
天理 31—12 奈良教大
大阪経大 21—16 大阪教大

▽準決勝
大阪体大 42—12 大阪大
大阪経大 18—17 天理

▽3位決定戦
天理 28—26 大阪大

▽決勝
大阪体大 27（15—2、12—4）6 大阪経大

中部工大が初

▼昭和55年度東海学生男子新人戦（6月）

▽準々決勝
名城 30—6 名古屋工大
中京 31—9 愛知学院
名大 10—6 南山
中部工大 28—12 中京C

▽準決勝
名城 23—12 中京
中部工大 21—11 名大

▽決勝
中部工大 16（8—8、8—7）15 名城

編集部からのお願い

機関誌編集委員会では、各種大会の記録を後世にまで残すべく、全力を尽して大会記録の収集に努力致しております。ところが編集委員メンバーの努力にも限界があり、すべての大会記録を収集できないのが現状です。

そこで各種大会終了後、至急日本協会編集委員会宛に試合結果を送付していただきたくお願い致します。

宛先〒150 東京都渋谷区神南1—1—1
日本ハンドボール協会
編集委員会宛

1979

昭和54年度から“より大きな補償”の保険になります

スポーツ団体だけでなく
子ども会，婦人団体，地域のクラブ等の方々も
10名以上のグループで，ご加入になれます

●保険料，保険金額は（お一人につき）

区分		保険料	死亡・後遺障害保険金額	医療保険金額	
				通院中	入院中
第1種	A	340円	12,000,000円 後遺障害の支払いは 3％～100％	日額 1,000円 支払限度日数 90日	日額 1,500円 支払限度日数 180日
	B	400			
	C	680			
第2種	A	9,600			
	B	3,200			
	C	1,600			

（注）特に希望がある場合は，保険料，保険金額が上記の半額になるＳ型の加入も可能です。

●第１種，第２種ＡＢＣの区分は次のとおりです。

第1種	A	スポーツ少年団，子ども会，こてきバンドなどの幼少年グループ
	B	ＰＴＡ，旅行同好会，万歩クラブなどで文化活動，奉仕活動，軽スポーツなどを行う団体
	C	ママさんバレー，早起き野球などの地域スポーツ団体
第2種	A	山岳会，スキンダイビング，リュージュなど
	B	スキー，ラグビー，サッカー，柔道，ボクシング，空手，馬術など
	C	卓球，テニス，陸上，水泳，軟式野球，バレー，ボート，体操競技など

●体協公認等の指導者も10名以上まとまった場合は第１種Ｃで加入できます。また，指導する団体の一員としても加入できます。

●適用の範囲（担保条件）は

○加入者の所属する団体の管理下における活動中の事故。
○団体が指定する集合，解散場所と加入者の住所との通常の経路往復中の事故。
○ただし学校管理下（学校安全会の給付対象内）における事故は不担保。

●保険期間

毎年４月１日より翌年３月31日まで。ただし，中途加入でも翌年３月31日までです。（申込は３月１日から受付ます）

●加入申込み，資料の請求，お問合せは……

スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課にあります），東京海上火災の営業店にご照会ください。

（財）スポーツ安全協会
東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館
電話 467－3111（代） 直通460－6263

釧路湖陵、宿願の初優勝飾る

北海道高校選手権

第31回北海道高校選手権は、6月14、15の2日間紋別市スポーツセンターに男子14、女子9校が参加して行なわれた。

男子は、4連勝を狙う函館有斗が姿をみせず、混戦が予想されたが、進境いちぢるしい釧路湖陵がすばらしい攻撃力で勝ち進み、決勝でも函館大谷を前半で突き放しみごとな初優勝を飾った。

男子で函館、室蘭地区以外のチームが優勝するのは42年の紋別北高以来13年ぶり。

女子も、釧路勢の強さが目立ち釧路商×釧路江南の決勝となり、釧路商が前半に主導権を握って2年連続2度目の優勝。

▽男子1回戦
帯広柏葉 28―9 名寄工
札幌西 16(延)15 室蘭栄
釧路商 17―12 紋別北
札幌南 23―21 室蘭工
八雲 23―12 旭川東
紋別南 16(延)14 倶知女

▽同準々決勝
函館大谷 18―6 帯広柏葉
札幌西 15―14 釧路商
八雲 17―14 札幌南
釧路湖陵 37―2 紋別南

▽同準決勝
函館大谷 19（11―6、8―5）11 札幌西
釧路湖陵 22（6―8、16―1）9 八雲

▽同決勝
釧路湖陵 24（11―5、13―4）9 函館大谷

▽女子1回戦（1試合）
函館商 13―8 古平

▽同準々決勝
釧路商 18―7 室蘭東
函館商 9―8 恵庭南
函館女商 18―1 紋別北
釧路江南 24―3 札幌白石

▽同準決勝
釧路商 21（8―4、13―2）6 函館商
釧路江南 10（4―0、6―4）4 函館女商

▽同決勝
釧路商 15（5―5、10―4）9 釧路江南

初の安積と12回の和洋女

東北高校選手権

第33回東北高校選手権は、6月21、22日の2日間、宮城県スポーツセンターを主会場にして行なわれた。

男女とも各12校の参加で、男子は、ノーマークの女積（あさか、福島）が、緒戦で青森商（青森）を押し切ってから波にのり、準々決勝では有力とみられた大曲農（秋田）に逆転勝ちするなどして決勝へ進出、湯沢（秋田）との対決は先制に成功して、鮮やかな初優勝となった。

女子は、予想どおり和洋女（秋田）×涌谷（宮城）のライバル同士の決勝となった。

試合は期待にたがわぬ激戦となり、一進一退の攻防をくりかえしたが、和洋女は、後半にあげた貴重な先行点を守り切り2年連続12回目の優勝を決めた。

和洋女に準決勝で食下った宮城三女（宮城）の健闘も、大会を大いに盛りあげるものだった。

▽男子1回戦
盛岡一（岩手）13（6―4、7―7）11 野辺地（青森）
湯沢（秋田）17（6―6、11―3）9 古川商（宮城）
盛岡四（岩手）28（12―9、16―6）15 新庄工（山形）
安積（福島）15（9―3、6―6）9 青森商（青森）

▽同準々決勝
学法石川（福島）19（9―4、10―8）12 盛岡一
湯沢 15（8―6、7―2）8 真室川（山形）
盛岡四 19（13―9、6―8）17 育英（宮城）
安積 19（12―7、7―9）16 大曲農（秋田）

▽同準決勝
安積 24（2―1、2―2、10―10、10―10）23 盛岡四
湯沢 15（7―3、8―6）9 学法石川

▽同決勝
安積 13（7―5、6―3）8 湯沢

▽女子1回戦
盛岡二（岩手）14（7―3、7―4）7 長沼（福島）
宮城三女（宮城）6（2―2、4―3）5 青森中央（青森）
青森西（青森）10（3―4、7―2）6 緑が丘（福島）
花巻南（岩手）14（6―1、8―2）3 日大山形（山形）

▽同準々決勝
和洋女（秋田）12（6―3、6―6）9 盛岡二
宮城三女 10（4―4、6―4）8 米沢（山形）
涌谷（宮城）14（4―3、10―3）6 青森西
大曲農（秋田）11（4―1、7―7）8 花巻南

▽同準決勝
和洋女 7（5―4、2―2）6 宮城三女
涌谷 8（6―4、2―0）4 大曲農

▽同決勝
和洋女 10（6―5、4―4）9 涌谷

氷見、小松市女搖るがず

北信越高校選手権

第16回北信越高校選手権は6月21、22日長野県屋代高球技場に男女各12校が参加して行われた。

男子は、常勝・氷見(富山)が、準決勝で上田（長野）に急迫された以外は、危気ない試合ぶりで、ついに7連勝8度目の優勝を飾った。

女子も、全国高校選抜優勝の小松市女（石川）が、順当に勝ち進み決勝では、小松の連覇阻止に意欲を燃やす有磯（富山）と対戦、熱のこもった展開から、小松市女が前半のリードを活かして制勝、4年連続10度目の優勝を遂げた。

▽男子1回戦

小松（石川）20（10−8, 10−8）16 蟻ケ崎（長野）

上田（長野）18（6−4, 12−8）12 柏崎工（新潟）

小諸商（長野）24（14−7, 10−10）17 巻（新潟）

羽水（福井）13（8−8, 5−2）10 高岡日大（富山）

▽同準々決勝

氷見（富山）17（9−4, 8−4）8 小松

上田 棄権 北陸（福井）

小松工（石川）37（18−3, 19−5）8 小諸商

美須々ケ丘（長野）18（8−3, 10−6）9 羽水

▽同準決勝

氷見 13（8−3, 5−5）13 上田

小松工 21（11−4, 10−7）11 美須々ケ丘

▽同決勝

氷見 25（13−6, 12−13）19 小松工

▽女子1回戦

小松商（石川）11（0−4, 7−3 ; 0−0, 0−0 ; 2−1, 2−1）9 福井商（福井）

小杉（富山）7（3−0, 4−2）2 美須々ケ丘（長野）

江南（新潟）12（5−3, 7−3）6 塩尻（長野）

小諸商（長野）19（9−2, 10−3）5 能生水産（新潟）

▽同準々決勝

小松市女（石川）26（16−0, 10−4）4 小杉

仁愛女（福井）13（9−0, 4−3）3 江南

小松商 13（10−4, 3−4）8 佐久（長野）

有磯（富山）22（9−2, 13−3）5 小諸商

▽同準決勝

小松市女 12（6−1, 6−2）3 仁愛女

有磯 15（6−4, 9−1）5 小松商

▽同決勝

小松市女 11（5−3, 6−6）9 有磯

中京連勝、市邨3年ぶり

東海高校選手権

第27回東海高校選手権は6月21、22の両日斐太農杯高(岐阜)に、例年どおり、東海4県の予選勝者、男女各8校が集まり行なわれた。

男子は1回戦で中京(愛知)×清水市商（静岡）が激突、中京が巧みに試合の主導権を握って快勝。その勢いを、つづく2戦にも持ちこんで2年連続6度目（中京商としての3回を含む）の優勝を飾った。

女子は、春の選抜2位の市邨学園（愛知）が独走するかと思えたが、決勝で2連勝を狙う同県の名短大付の食い下りにあって苦戦、辛くも延長へ持ちこんだあと、ようやく持ち前の鋭さを発揮、次々にポイントをあげ勝利を握り、3年ぶり4度目（名古屋女商としての2回を含む）の優勝を決めた。

▽男子1回戦

一宮（愛知）22（11−5, 11−7）12 尾鷲（三重）

中京（愛知）13（9−4, 4−6）10 清水市商（静岡）

四日市工（三重）16（7−5, 9−6）11 多治見北（愛知）

県岐阜商（岐阜）18（10−5, 8−7）12 静岡農（静岡）

▽同準決勝

一宮 16（10−7, 6−7）14 県岐阜商

中京 14（9−2, 5−8）10 四日市工

▽同3位決定戦

県岐阜商 18（7−8, 11−7）15 四日市工

▽同決勝

中京 22（9−8, 13−8）16 一宮

▽女子1回戦

名短大付（愛知）12（6−4, 6−5）9 暁（三重）

市邨学園（愛知）27（15−1, 12−3）4 県岐阜商（岐阜）

静岡城北（静岡）16（7−7, 9−2）9 岐阜南（岐阜）

津女子（三重）13（5−9, 8−3）12 清水市商（静岡）

▽同準決勝

市邨学園 19（13−6, 6−3）9 津女子

名短大付 14（7−0, 7−3）3 静岡城北

▽同3位決定戦

静岡城北 14（6−3, 8−2）5 津女子

▽同決勝

市邨学園 20（6−7, 8−7 ; 3−1, 3−1）16 名短大付

★海外トピックス★

杉山　茂
（NHK運動部）

群抜くソ連の競技人口

IHF(国際ハンドボール連盟)は、このほど今年1月現在の世界のハンドボール人口統計を発表した。

それによると、世界の総競技人口は三、七二一、三〇六人で、このうち、成年男子は一、二一六、一六六人、同女子は四九二、四二〇人、残る約二百万がジュニア男女(18才以下)となっている。

この人口調査は、最近では4年ごとに行われ各国協会、報道関係者などに配布されるが、いずれの数字も4年前より増を示しており総人口では約九十万のプラスである。

同時に発表されたチーム数は、世界の総数(成年)は七七、一五〇で、前回調査より約一万の増。ジュニア(18才以下の男女)は一一五、三七二チームと、前回に比して約三万のプラスをマークしている。

国別に各項目の上位を調べると別掲のようになるが、相変らずソ連が群を抜いた競技人口を誇る。

ジュニア男女を加えるとチーム数は四万二千、総競技人口は約百二万という驚異的なものだ。

注目されるのは、ベールをぬいだキューバ。

各項目ともベストテンの上位にランクされており、この人口を背景に、今後、実力的にどこまで伸びるか興味深い。

中国が、そのデータを初公開したものも関心を集めよう(別掲)。

なお、この調査ではチリが総人口を世界3位に相当する二六万人と報告しているが、同国のチーム数は総計四二四にすぎず、誤りではないかと思われるので、拙稿からはずした。

キューバ、欧州に初遠征

さて、競技人口で驚くべき実態を明きらかにしたキューバが、オリンピックを前に、ヨーロッパへ初遠征、話題を集めた。

キューバは、これまで友好国にはチームを送っていたが、いずれもジュニアナショナルで、シニアの遠征は史上初といっていい。

転戦したのは、チェコ、フランス、スペインなどで、フランスでは、中国をまじえた三国対抗に出場、中国を43—28、フランスを31—24で破り、〝優勝〟している。

モスクワ・オリンピックで予選同組のスペインとは3連戦を行ない、23—34、23—35、26—27と敗れたものの、その攻撃力は、ヨーロッパの専門家筋からも高い評価をうけ、82年の世界選手権あるいは84年のロスアンゼルス・オリンピックでは、Aクラス入りするのではないかという声さえあがっている。

なお、フランスでの報道によるとキューバは、早ければ次の世界選手権で女子も国際舞台に登場の予定という。

モスクワ前哨戦の成績

いささか遅いニュースになってしまったが、モスクワ・オリンピックを目指すヨーロッパ各国の今シーズン(昨秋から今夏七月)の成績が、ヨーロッパの担当記者によって、まとめられている。

それによると、男子で、もっとも多く試合をしたのはユーゴで、実に34試合、19勝2分13敗という記者の記憶では、ユーゴはたしか、ミュンヘンオリンピック前にも、35~40試合をこなし、その成果で金メダルを得ている。

モスクワの本命・ソ連は20戦して15勝1分4敗という高勝率を示した。

このほか東ドイツ、スイスが各21試合。東ドイツは日本戦2勝を含む15勝1分5敗で、ソ連につぐ成績だ。

一方、女子は、ビッグトーナメントだけの成績によると、ハンガリーが、なんと18戦18勝と絶好調である。

このほか、ユーゴが15戦12勝、東ドイツが14戦11勝、ソ連が12戦10勝、チェコが25戦18勝(1分)と、モスクワでも激戦を予想される戦いぶりである。

ユーゴ杯に中国が参加

第20回ユーゴ男子トロフィに中国が初参加した。

同大会は6月30日から5日間にわたり5カ国6チームが出場して行われ、ユーゴが優勝を飾ったものだが、中国は健闘も及ばず5敗6位に終った。

中国が、ヨーロッパの本格的なトーナメントに姿をみせるのは、一昨年秋のフランス国際以来だが、やはり今回も、ディフェンスに問題があったようだ。

▽中国の試合結果

		前半	後半		
ユーゴ	34	21—7	13—6	13	中国
スイス	34	16—14	18—10	24	中国
スペイン	32	17—8	15—11	9	中国
ユーゴB	41	22—9	19—13	22	中国
ブルガリア	28	16—9	12—13	22	中国

【順位】①ユーゴ4勝1敗②ユーゴB・スペイン3勝1分1敗④ブルガリア2勝1分2敗⑤スイス1勝4敗⑨中国5敗。

◇成年男子チーム数

国	チーム数
ソ連	12125
西ドイツ	8634
キューバ	4135
フランス	3515
スウェーデン	3020
スペイン	2610
デンマーク	2603
ユーゴ	1962
東ドイツ	1903
オランダ	1139
日本	534
中国	106

◇成年女子チーム数

国	チーム数
ソ連	8641
西ドイツ	3305
デンマーク	1964
スウェーデン	1650
フランス	1275
オランダ	1195
キューバ	800
東ドイツ	752
ノルウェー	696
ルーマニア	659
日本	133
中国	95

◇成年男女人口

国	人口
ソ連	553867
西ドイツ	338641
フランス	62632
キューバ	59220
デンマーク	59150
スウェーデン	59000
スペイン	52552
東ドイツ	46095
ユーゴ	43828
オランダ	34151
日本	10783
中国	6900

彦根BSク、京都ク破り優勝

全国クラブ大会　男子は岩国クが「初」

第4回（女子第5回）全国クラブ大会は、7月4日から6日までの3日間、京都府舞鶴市の海上自衛隊舞鶴体育館を主会場に、男子24、女子8クラブが参加してトーナメントで行われた。

男子は、前年の静岡大会優勝チーム・大崎電気愛好会（埼玉）が第1戦で敗れる〝波乱〟があり、各クラブのレベルアップと意欲によって熱戦がつづいた。

ベストフォアには、クラブチームとして、これまでにも実績のある強豪が駒を進め、準決勝では、2試合とも逆転ゲームという盛りあがりだった。

決勝の岩国ク(山口)×新居浜ク(愛媛)は、かつて実業団・三菱レイヨン大竹（広島）と住友化学菊本(愛媛)で活躍した選手を主力とした両チームだけに、なかなか見応えがあったが、岩国クは、後半15分13—13のあと43才のベテラン沖重の勝ちこし点と坂本、大江の追加点で主導権を握り、新居浜クの反撃を2点におさえ、初優勝を飾った。

女子は、8クラブの参加にとどまったが、いずれも、この大会の開幕を待ちわびていたチームとあって〝熱戦〟を展開。

ベストフォアには、これまで4回の岐阜大会で優勝経験のある2チームと、新進・彦根BSク（滋賀）などが勝ちあがった。

彦根×大分東シニア（大分）は延長寸前、彦根が残り40秒間に2ゴールをあげて辛勝、京都×徳山は、残り5分12—14とリードされた徳山がタイに追いつき延長となったが、京都は延長後半16—15から2点連取して勝負を決めた。

彦根×京都の決勝は、徳山戦をものにした京都有利とみられたが国体を控えた彦根は元気のよい試合運びでたえず先行、後半開始後の連続3点で9—5とし優位に立った。

京都もよく粘り、残り5分6—12から秋田の活躍で1点差まで追いあげる粘りをみせたが、それまでの貧攻がたたって、逆転にはいたらなかった。

彦根BSクは初優勝、というより滋賀県のチームが〝全国大会〟を制覇したのは、男女あらゆる分野を通じて史上初めてである。

1回戦で敗退したポスト・ク（静岡）は、主婦を中心に編成された平均年令29・7才のクラブ、さわやかな健闘だった。

▽男子1回戦

雪陵ク（大阪）24—12 鬼商会ク（岐阜）
静農ク（静岡）不戦勝 添上ク（奈良）
舞鶴ク（京都）28—7 鵜の森ク（三重）
徳山ク（山口）23—19 滋賀ク（滋賀）
岩国ク（山口）29—18 井草ク（東京）
生駒ク（奈良）21—17 北農ク（長野）
光陽会（福井）26—17 坂出工ク（香川）
呉ベアーズ（広島）23—17 柿の実会（栃木）

▽同2回戦

雪陵ク 21—14 大崎電気愛好会（埼玉）
新居浜ク（愛媛）25—14 静農ク
舞鶴ク 21—20 想球会（富山）
七戸ユニオン（青森）25—13 徳山ク
岩国ク 27—20 金沢あすなろク（石川）
花巻ク（岩手）24—18 生駒ク
京都ク（京都）26—12 光陽会
呉ベアーズ 23—17 清商ク（静岡）

▽同準々決勝

新居浜ク 28（13—8、15—10）18 雪陵ク
七戸ユニオン 29（16—8、13—7）15 舞鶴ク
岩国ク 26（12—5、14—6）11 花巻ク
京都ク 20（9—8、11—11）19 呉ベアーズ

▽同準決勝

新居浜ク 15（8—9、7—2）11 七戸ユニオン
岩国ク 22（6—7、16—5）12 京都ク

▽同決勝

岩国ク 20（8—7、12—8）15 新居浜ク

【岩国】	得
GK 中元	0
FP 善本	3
岩本	1
大森	2
坂本	5
大江	3
岡本	0
土井	4
沖重	2

【新ク】	得
GK 福田	0
藤田	0
FP 塩崎	2
土井	2
城賀本	0
加藤	1
近藤	1
曽我部	0
原	0
金剛	2
越智	0
髙橋	7

（審・吉田・藤本）

15（2）ＰＴ（3）20

▽女子1回戦（＝準々決勝）

彦根BSク（滋賀）16（6—9、10—3）12 武蔵野ク（東京）
大分東シニア・ク（大分）25（14—5、11—5）10 むつみケ丘ク（三重）
京都ク（京都）22（10—5、12—5）10 笠松ク（岐阜）
徳山ク（山口）26（15—4、11—8）12 ポスト・ク（静岡）

▽同準決勝

彦根BSク 22（10—9、12—11）20 大分東シニア・ク
京都ク 18（5—8、9—6、…、2—1、2—1）16 徳山ク

▽同決勝

彦根BSク 12（6—5、6—6）11 京都ク

【京都】	得
GK 滝本	0
森	0
FP 秋田	4
金森	0
岩本	3
榎崎	0
野村	1
真部	0
黒木	0
成田	0
矢野	3
太田	0

【彦根】	得
GK 西村	0
野瀬	0
FP 武田	2
金綱	7
田中	2
徳野	0
伊豆川	0
今井	1
藤木	0
松井	0

（審・森下・太田）

12（3）ＰＴ（3）11

後記

第4回全国クラブ大会は、昨年優勝の大崎電気愛好会（埼玉）が第一戦で敗れる波乱に満ちた大会となった。

男子は岩国クラブが新居浜クラブを押さえて初優勝を飾ったが、七戸ユニオンや京都クラブの健闘が光っていた。

女子は京都クラブが延長の末徳山クラブを破り、決勝進出を果したが、新進彦根BSクラブの前に惜敗した。

優勝した彦根BSクラブは、来年国体を迎える滋賀県からの初出場でタイトルを手中に納めた。

滋賀県チームが全国大会のタイトルを得たのはこれが始めてであり、今後各分野での活躍が期待される。

各地の記録

岐阜教員、イーグルス降す

▼岐阜県春季選手権（5月・岐阜西工）

▽男子1部準々決勝

岐阜教員 18─16 岐阜工高
岐阜南ク 23─18 大垣工高
岐阜北高 15─13 自衛隊
イーグルス 18─17 岐西ク

▽同準決勝

岐阜教員 24─13 岐阜南ク
イーグルス 18─17 岐阜北高

▽同決勝

岐阜教員 10（7─1、3─5）6 イーグルス

▽同2部決勝

大垣農高 15─14 岐阜高専

▽女子1部決勝トーナメント1回戦

県岐商OG 13─6 鵜球会

▽同決勝

県岐商OG 10（4─4、6─4）8 腕満会

▽同2部決勝

大垣農高 5─4 羽島高

あすなろク、2年ぶりの優勝

▼石川県一般男子春季大会（5月・金沢美大体育館）

▽準々決勝

金沢工大 15─14 寺井ク
あすなろク 23─13 小松ク
県工ク 22─11 津幡ク
星稜ク 16─15 金沢大A

▽準決勝

あすなろク 18─16 金沢工大
星稜ク 11─10 県工ク

▽決勝

あすなろク 39（19─8、20─9）17 星稜ク

◆新刊紹介

「ハンドボール・ルール ハンドブック」

安藤純光・著

かねてから専門家、愛好者たちが待望していた「レフェリングの専門書」である。

すでに25年近くレフェリー生活を経験している筆者だけに、難解なルールを、極めて親しみやすく分類し、各項一つ一つに笛の吹きかたや、ルールのもつ思想が、問答形式などをまじえ心をこめ、しかも手際よく解説されている。

レフェリー、これから審判界入りを目指す人たちはもちろん観戦の手引きにも充分になり得る好著だ。

終章にでも「将来のハンドボールルール」といった筆者の随想でも加っていれば、いっそう楽しめたろう。（四八〇円、ベースボール・マガジン社）

高校男子は氷見が快勝

▼富山県春季選手権（5月・小杉高）

▽高校男子準々決勝

氷見 27─6 伏木
富山南 13─12 富山中部
高岡商 20─19 八尾
高岡日大 24─6 新湊

▽同準決勝

氷見 33─8 富山南
高岡日大 15─14 高岡商

▽同決勝

氷見 25（11─7、14─5）12 高岡日大

▽高校女子準々決勝

有磯 21─5 富女短付
高岡日大 22─1 富山東
富山女 14─5 高岡商
小杉 12─5 高岡女

▽同準決勝

有磯 15─6 高岡日大
小杉 13─12 富山女

▽同決勝

有磯 19（11─2、8─2）4 小杉

▽一般男子準決勝

氷見ク 29─9 射水ク
富山教員 18─12 富山想球会

▽同決勝

氷見ク 19（7─5、12─10）15 富山教員

▽一般女子準決勝

高女高OG 8─6 小杉高OG
有磯高OG 13─4 富山想球会

▽同決勝

有磯高OG 15（4─4、5─5、0─1、2─1、3─1、1─1）13 高女高OG

女子はポスト・クが初

▼静岡県クラブ選手権（5月・清水市商）

▽男子準々決勝

清商ク 12─0 島南ク
気賀ク 24─13 富士ク
静農ク 20─10 沼津ク
御殿場ク 20─17 北小林ク

▽同準決勝

清商ク 15─7 気賀ク
静農ク 27─13 御殿場ク

▽同決勝

清商ク 6（3─0、3─5）5 静農ク

▽女子準決勝

ポストク 14─3 緑友会
二俣ク 12─5 清商ク

▽同決勝

ポストク 14（7─4、7─5）9 二俣ク

自衛隊勝田敗れる

▼茨城県民総体（7月・土浦工）

▽成年男子1回戦（3試合）

鉾田ク 29─20 土浦三OG
麻生ク 21─16 笠間ク
自衛隊勝田 29─19 日本原研

▽同準決勝

筑波振球会 33─15 鉾田ク
自衛隊勝田 41─9 麻生ク

▽同決勝

筑波振球会 24（11─10、13─8）18 自衛隊勝田

▽一般男子トーナメント1回戦（1試合）

茨城大 23─11 城南ク

▽同準決勝

茨城大 18─14 千代田ク
土浦ク 21─19 自衛隊古河

▽同決勝

茨城大 16（7─8、9─7）15 土浦ク

▽同女子決勝

桜芳ク 不戦勝 笠間ク

岡山教員の快勝

▼岡山県一般春季トーナメント（5月・岡山）

▽男子準々決勝

岡山教員 22─16 児島ク
津山高専 18─17 岡山ク
津山ク 19─18 岡山大
倉敷商OB 棄権 倉敷工OB

▽同準決勝

津山ク 17─13 倉敷商OB
岡山教員 20─15 津山高専

▽同3位決定戦

津山高専 23─11 倉敷商OB

▽同決勝

岡山教員 25（9─3、16─7）10 津山ク

▽女子決勝

岡山大 11（5─2、6─1）3 津山ク

栃木国体県予選記録（報告分）

◆茨城

▽少年男子準々決勝
土浦一高 14—10 岩井高
県北選抜A 19—16 県東選抜A
県南選抜 26—11 水海道一高
笠間高 23—15 県東選抜B

▽同準決勝
土浦一高 15—13 県北選抜A
県南選抜 26—14 笠間高

▽同決勝
県南選抜 14—12 土浦一高

▽同女子準々決勝
竜ケ崎二高 20—3 笠間高
結城二高 12—7 県東選抜A
県東選抜B 10—9 八郷高
水海道二高 14—3 県北選抜A

▽同準決勝
結城二高 11—8 竜ケ崎二高
水海道二高 14—2 県東選抜B

▽同決勝
水海道二高 9—5 結城二高

◆福岡

▽成年男子1回戦
北九州ク 32—16 福岡教員ク

▽同準決勝
BS久留米ク 25—24 福岡市民ク
北九州ク 22—16 赤間ク

▽同決勝
北九州ク 28—20 BS久留米ク

▽同女子決勝
福岡ク 28—8 北九州ク

◆長崎

▽少年男子1回戦（1試合）
佐世保西高 25—8 長崎日大高

▽同準決勝
佐世保商高 23—16 瓊浦高
佐世保西高 29—17 波佐見高

▽同決勝
佐世保西高 24（延）23 佐世保商高

▽同女子決勝リーグ
佐世保商高 9—7 長崎日大高
島原農高 12—3 長崎日大高
佐世保商高 11—7 島原農高

【順位】①佐世保商高②島原農高③長崎日大高

▽成年男子決勝
佐世保ク 35—20 ロ加ク

◆大分

▽成年男子決勝トーナメント1回戦
日豊ク 22—13 国武ク
新日鉄大分 40—1 大分鉄道管理局

▽同決勝
新日鉄大分 31—13 日豊ク

◆長野

▽少年女子の部
美須々丘高 14—1 小諸商高
代表決定戦
佐久高 10（6—2、4—1）3 美須々丘高

▽少年男子の部
小諸商高 22—15 皷ケ崎高
美須々丘高 11—8 上田高
代表決定戦
小諸商高 17（13—5、4—9）14 美須々丘

▽成年男子の部
かつらを 21—20 長野教員ク
北農ク 24—10 鳩ケ丘ク
代表決定戦
北農ク 23（16—7、7—15）22 かつらを

▽成年女子の部
小商クA 16（13—2、3—3）5 小商クB

中学大会記録

▼岐阜県中学生選手権大会（五月）

▽男子準々決勝
笠松 10—8 今尾
境川 22—7 高富
加納 20—7 蕪原
昭和 10—6 城山

▽同準決勝
境川 10—8 笠松
加納 17—13 昭和

▽同決勝
境川 15（9—7、6—6）13 加納

▽女子準決勝
日枝 13—5 境川
加納 10—1 松倉

▽同決勝
日枝 9（6—5、2—3、0—0、1—0）8 加納

IHF競技プログラム

日本関係資料のみ

		開催地
▽83年10月15日～30日	第4回 Jr女子世界選手権	「ポーランド」
▽83年12月1日～15日	第4回 男子Jr世界選手権	「ポーランド」
▽日時未定	トレーナー・レフリーシンポジウム	「未　定」
▽84年7月～8月	ロスアンゼルス　オリンピック	「アメリカ」
▽84年7月	第20回　定例総会　コロラドスプリングに内定	「　ソ　」
▽81年10月15～30日	第3回　女子Jr世界選手権（最少12チーム）	「カナダ」
▽81年12月1日～15日	第3回　男子Jr世界選手権（16チーム）	「ポルトガル」
▽82年2月23日～3月8日	第10回　第子世界選手権（アジア代表2）	「西ドイツ」
▽82年12月1日～13日	第8回　女子世界選手権	「ハンガリー」
▽82年8月15日～19日	第19回　定例総会	「ロンドン」

マイクロコンピューター搭載。どこまで進化するのかラジオカセット。

メタル&フェザータッチ

TRK-8800 ¥84,800

●高級デッキなみの操作感覚フェザータッチ ●2モーターシステムが可能にした高精度回転ワウ・フラッター0.06%(W.R.M.S) ●メタルテープの性能をフルに引き出すメタル対応ヘッド搭載 ●曲の頭出し思いのまま、繰り返し聞けるリピートデジタル選曲機構 ●テープを初めから終わりまで繰り返し自動演奏するオートリワインドプレイ機構

●2ウェイ・4スピーカーシステム(16cmウーハー×2+5cmツイーター×2) ●実用最大出力10W(5W+5W) EIAJ/DC ●大きさ 幅55.6×高さ31.8×奥行17.3(cm) ●重さ 8kg(乾電池含む)

★選曲のために、曲と曲との間に3秒間以上の無信号部分が必要です。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI RADIO CASSETTE RECORDER

HITACHI

上手に使って上手に節電

HINT

くらしを豊かに…
「日立新技術シリーズ」
日立の新技術・新アイデアから生まれた代表商品です。このエレクトロニクスの基本技術は、日立カセットレコーダーに共通して生かされています。

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL(03)503-2111

お求めは、お手軽なお支払い日立のクレジット

★ご購入金額から頭金を差引いた金額が1万2千円から100万円までの場合、クレジットがご利用いただけます。
★商品のお問い合わせ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

●日立カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●日立カセットレコーダーには保証書がついています。ご購入の際には必ず記入事項をご確認のうえ、お受取りになり大切に保存してください。

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一八八号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和五五年七月二十五日印刷 昭和五五年八月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表（467）七〇九七
振替 東京 六－五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価三百五拾円（年間購読料三千三百円）